

5300P-1800





取扱説明書の最新版は、弊社ホームページからもダウンロードできます。





目次

はじめに	V
ご注意	v
おねがい	V
電波障害自主規制	v
テレビ / ラジオの受信障害について	V
安全にお使いいただくために	vi
マーク表示について	vi
安全インターロックについて	ix
警告ラベルについて	X

第1章 ご使用の前に

設置場所について1-2 使用環境温度について1-2 本機の移動1-2 各部の名称とはたらきについて1-4 操作パネル1-6 キャリッジ1-8 カッター刃とカット溝1-8 キャッピングステーション1-8 ピンチローラーとフィードローラー1-8 ケーブルを接続する1-9 USB2.0 インターフェイスケーブルを 接続する1-9 LAN ケーブルを接続する1-9 電源ケーブルを接続する1-10 インクについて1-11 使用できるインクについて1-11 インクをセットする1-11 インクパック取り扱い上のご注意1-14 メディアについて1-15 メディア取り扱い上の注意1-15 メニューモードについて1-16

第2章

基本的な使い方

作業の流れ	2-2
電源を入れる/切る	2-3
電源を入れる	2-3
電源を切る	2-3
メディアをセットする	2-4
ヘッド高さを調整する	2-4

ロールメディアをセットする	2-5
テンションバーを使ってロールメディアをセットする	2-7
巻取装置について	2-10
リーフメディアをセットする	2-14
原点を変更する場合は	2-15
ヒーターの準備をする	2-15
ヒーターの温度設定を変更する	2-15
テストプリントをする	2-16
テストプリントを行う	2-16
ヘッドクリーニング	2-17
ヘッドクリーニングについて	2-17
テストプリントの結果に合わせてヘッドクリーニングを行う.	2-17
フィード補正の設定	2-17
フィード補正の設定	2-17
ドットの位置がずれたら	2-18
データをプリントする	2-18
プリントを開始する	2-18
プリントを中止する	2-19
受信したデータを消去する(データクリア)	2-19
プリント完了後の動作	2-19
メディアをカットする	2-19

第**3**章 セットアップ

設定メニューについて	3-2
設定メニューー覧表	3-3
使い方に合わせた最適なプリント条件を登録する	3-4
フィード補正の設定	3-5
ドットの位置がずれたら	3-6
ヒーターの設定	3-6
オプションヒーターの設定	3-7
ロジカルシークの設定	3-7
重ね塗りの設定	3-8
乾燥時間の設定	3-8
マージン(左/右)の設定	3-8
リフレッシュの設定	3-9
吸着ファンの設定	3-9
フィード速度の設定	3-9
フィード品質の設定	3-9
MAPS4 の設定	3-10
オートクリーニングの設定	3-11
定期ワイピングの設定	3-11
外部ヒーターの設定	3-12
プリフィードの設定	3-12
マシン設定メニューについて	3-13
マシン設定メニューー覧表	
オートパワーオフの設定	
巻取ユニットの設定	
レップブロワの設定	
メディア残量表示の設定	
PG 着弾調整の設定	

メディア検出の設定	3-17
乾燥フィードの設定	3-18
言語の設定	
時刻の設定	3-18
単位(温度/長さ)の設定	3_18
+位(血及)及C)の成定 セーブザーの設定	3_10
キ ノリ の政定	2 10
唯心ノイートの反と	
ノリント間の余日の設定	3-19
余白フィード方式の設定	3-19
ネットワークの設定	3-20
イベントメール機能の設定	
設定した内容を初期状態に戻す	3-24
ノブルチェックメニューについて	3_25
ノスルチェックメニュー一覧表	3-25
印刷中ノズルチェックの流れ	3-26
「ノズル抜け」判定時ならびにエラー発生時の印刷動作	3-26
印刷中ノズルチェックの設定	
自動ノズルリカバリの設定	3-27
133/ バル シジバ シジ 設定	3_27
情報メニューについて	
情報メニューー覧表	3-28
情報を表示させる	3-29
-	

第**4**章 お手入れ

日常のお手入れ	
お手入れ上のご注意	4-2
メンテナンス液について	4-2
外装のお手入れ	4-2
プラテンの清掃	4-2
メディアセンサーの清掃	4-3
メディア押さえの清掃	4-3
メンテナンスニューについて	
メンテナンスメニューー覧表	4-5
キャッピングステーションのメンテナンス	
ワイパーとキャップの清掃	
ヘッドノズルの洗浄	4-7
インク排出路の洗浄	4-9
長期間使用しない場合	4-10
ヘッド周辺の清掃	4-12
ノズルリカバリ機能	4-13
設定値をリセットする	4-14
リカバリできない条件を確認する	4-14
テストプリント時にノズルリカバリを有効にするか設定する…	4-14
オートメンテナンス機能	4-15
リフレッシュ間隔を設定する	4-15
チューブ洗浄間隔を設定する	4-15
クリーニング間隔とタイプを設定する	4-15
ノズル洗浄を中断する	4-16
インク充填	
消耗品の交換	4-16

ワイパーを交換する	4-16
廃インクタンク確認メッセージが表示されたら	4-17
廃インクタンクを交換する	4-18
カッター刃の交換	4-18
スパウトゴムを交換する	4-19
MBIS オスコネクタ吸収材を交換する	4-21

第5章 困ったときは

故障かな?と思う前に	5-2
電源が入らない	5-2
プリントできない	5-2
メディア詰まり / メディアが汚れる	5-2
ヒーターの温度が設定値まで上昇しない	5-3
画質不良が発生したときは	5-3
ノズル詰まりを解消したいとき	5-3
インク IC チップ異常が発生したら	5-3
インク漏れが発生したら	5-4
メッセージを表示するトラブル	5-5
ワーニングメッセージ	5-5
エラーメッセージ	5-8

第 6 章 付録

出様6-	-2
本体什様	-2
インク仕様	-3
インク種によるセットの違いについて6-	.4
インクカートリッジのセット順6-	-4
お問い合わせシート6-	-5

はじめに

この度は、カラーインクジェットプリンタ TS300P-1800 をお買いあげいただき、誠にありがとうございます。 TS300P-1800」は、1.8m 幅のメディアに昇華転写インク (4 色 /6 色 /7 色 /8 色) でプリントする、高画質に対応した カラーインクジェットプリンタです。

本書をよくお読みになり、お客様のニーズに合わせた作図にお役立てください。

ご注意

株式会社ミマキエンジニアリングの保証規定に定めるものを除き、本機の使用または使用不能から生ずるいかなる 損害(逸失利益、間接損害、特別損害またはその他の金銭 的損害を含み、これらに限定しない)に関して一切の責任 を負わないものとします。

また、株式会社ミマキエンジニアリングに損害の可能性に ついて知らされていた場合も同様とします。

ー例として、本機を使用したメディア等の損失や、作成された物によって生じた間接的な損失等の責任負担もしないものとします。

本機を使用したことによる金銭上の損害および逸失利益、 または第三者からのいかなる請求についても、弊社は一切 その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

おねがい

- •本書は、「カラーインクジェットプリンタ TS300P-1800」(以後本機と称します)の操作やメンテナンスな どの取り扱いについて説明いたします。
- 本書をお読みになり、十分理解してからお使いください。また、本書をいつも手元に置いてお使いください。
- 本書は、本機をお使いになる担当者のお手元に確実に 届くようお取りはからいください。
- 本書は、内容について十分注意して作成していますが、
 万一不審な点がありましたら、販売店または弊社営業
 所までご連絡ください。
- この取扱説明書は、改良のため予告なく変更する場合 があります。
- 本書が焼破損などの理由により読めなくなった場合は、弊社営業所にお問い合わせください。
- 取扱説明書の最新版は、弊社ホームページからもダウンロードできます。

電波障害自主規制

本機は、クラス A 情報技術装置です。本機を家庭で使用 すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合に は使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあ ります。

VCCI-A

テレビ / ラジオの受信障害について

本機は、使用時に高周波が発生します。このため、本機が 不適切な条件下で設置または使用した場合、ラジオやテレ ビの受信障害を発生する可能性があります。したがって特 殊なラジオ/テレビに対しては保証しておりません。 本機がラジオ/テレビ受信の障害原因と思われましたら、 本機の電源を切り、ご確認ください。電源を切り受信障害 が解消すれば、本機が原因と考えられます。

次の手順のいずれか、またはいくつかを組み合わせてお試 しください。

- ・テレビやラジオのアンテナの向きを変え、受信障害の 発生しない位置をさがしてください。
- この製品から離れた場所にテレビやラジオを設置して ください。
- ・この製品とは別の電源供給路にあるコンセントにテレビやラジオを接続してください。

本書の内容を無断で転載することは禁止されています。 ©株式会社ミマキエンジニアリング

安全にお使いいただくために

マーク表示について

本書では、マーク表示により操作上の注意内容を説明しています。注意内容により表示するマークは異なります。各マーク表示の持つ意味をご理解し、本機を安全に正しくお使いください。

マーク表示の例

	内容	
	「警告」マークは、指示を無視して誤った取 り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う 可能性が想定される内容を示しています。必 ずよくお読みになり、正しくお使いくださ い。	
注意	「注意」マークは、指示を無視して誤った取 り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想 定される内容および物的損害の発生が想定 される内容を示しています。	
重要!)	「重要」マークは、本機をお使いいただく上 で、知っておいていただきたい内容が書かれ ています。操作の参考にしてください。	
i	「ヒント」マークは、知っておくと便利なこ とが書かれています。操作の参考にしてくだ さい。	
	関連した内容の参照ページを示しています。	
<u></u>	▲マークは、注意(危険・警告を含む)を 促す内容があることを告げるものです。中に 具体的な注意事項(左図の場合は感電注意) が描かれています。	
	◇記号は、禁止の行為であることを告げる ものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容 (左図の場合は分解禁止)が描かれています。	
0	●記号は、行為を強制したり、指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容(左図の場合は差し込みプラグをコンセントから抜いてください)が描かれています。	

使用上の警告と注意

▲警告

- ・同梱されている電源コードセットは本機専用です。 本機以外の電気機器には使用できません。また、同 梱されている電源コードセット以外の電源コード セットは、本機には使用しないでください。火災や 感電の原因になります。
 - ・電源ケーブルを傷つけたり、破損したり、加工しないでください。また、重い物をのせたり、加熱したり、引っ張ったりすると電源ケーブルが破損し、火災・感電の原因になります。
 - ・湿気の多い場所での使用は避けてください。また、
 本機に水をかけないでください。火災や感電、故障の原因になります。
 - ・万一、煙が出ている、変な臭いがするなどの異常事 態のまま使用すると、火災・感電の原因になりま す。すぐに、電源スイッチをオフにして、その後必 ずプラグをコンセントから抜いてください。煙が出 なくなるのを確認してから、販売店または弊社営業 所に修理をご依頼ください。お客様による修理は危 険ですから絶対に行わないでください。
 - ・本機やインクパックの分解・改造は、絶対にしない でください。感電や故障の原因になります。
 - メディア搬送面のヒーターにホコリやゴミ等が付着しないようにしてください。発火、火災の原因になります。
 - ・延長コードは使用しないでください。火災や感電の 原因になります。
 - 電源プラグの刃に金属などが触れると、火災や感電の原因になります。
 - タコ足配線をしないでください。火災や感電の原因 になります。
 - ・電源コードが傷んだり、芯線の露出・断線などが見られるときはサービス実施店に交換を依頼してください。そのまま使用すると火災や感電の原因になります。
 - 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因になります。
 - 電源プラグを抜くときは、必ず電源プラグを持って 抜いてください。電源コードを引っぱらないでくだ さい。コードが傷つき、火災や感電の原因になりま す。
 - ・表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでく ださい。火災や感電の原因になります。
 - ・表示された電源周波数以外では使用しないでくだ さい。火災や感電の原因になります。
 - ・危険な可動部に、指や体の他の部分を近づけないで ください。
 - 万一、金属、水、液体などの異物が本機内部に入ったときは、すぐに電源を切ってください。その後必ず電源ブラグをコンセントから抜いてサービス実施店に連絡してください。そのまま使用すると火災や感電の原因になります。
 - インク漏れが発生した場合は、主電源スイッチをオ フにして電源プラグを抜いてから、販売店または弊 社営業所、コールセンターにお問い合わせください。
 - 本機を移動する場合は、最寄のサービス店にご相談 ください。
 - 本機の近くまたは内部で可燃性のスプレーや引火
 性溶剤などを使用しないでください。引火による火
 災や感電の原因になります。
 - 本機の上や近くに花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、 薬品、水などの入った容器または小さな金属物を置 かないでください。こぼれたり、中に入ったりする と、火災や感電の原因になります。

使用上のご注意





/ 注

インクパックの取り扱いについて

意

ご注意とお願い

こ注意とお願い	▲ 警告
▲ 警告	定期交換部品について
・弊社推奨インクにより安全性を評価しています。安全にご使	 本機は、定期的にいくつかの部品を交換する必要があります。弊社サービスまたはお買い上げの販売店とアフターサービスの契約を行い、未永く安全に本機をご使用になることをお勧めします。
用いただくため、弊社推奨インクをご使用ください。 ・インクパック内のインクを詰め替えないでください。詰め替 ったインクた使用してたじた不見合について、弊社けいっさ	本機の廃棄について ・本機を廃棄するときは、お買い上げの販売店か弊社サービス
 れつりを使用して主した不具合について、昇柱はいうといの責任を負いかねます。 インクパックを寒い所から暖かい所に移した場合は、3時間 	にご相談ください。なお、お客様自身で廃棄処理される場合 は、産業廃棄物処理業者または各国の地域の条例に従って処 理してください
以上室温環境下に放置してから使用してください。	メンテナンス上の注意
 インクパックは、取付直前に開封してください。開封した状態で長時間放置しておくと、正常にプリントできない場合があります。 	 本機は、ほこりの少ない部屋で使用することをお勧めします。
 インクパックは、冷暗所で保存してください。 インクパックや廃インクタンクは、子供の手の届かない場所 	 ・フリントをしていないときは、フロントカバーを閉じておいてください。開けたままにしておくと、ヘッドやノズルにほこりが付着し、プリント中にインク滴が突然メディアに落ちていた。
に保管してください。	 る場合があります。 このような場合は、ヘッドの清掃をしてください。
 インクパックを強くたたいたり、激しく振り回さないでください。インクパックからインクが漏れる場合があります。 	 インクステーションやヘッドを清掃するときは、必ず付属の 手袋と保護メガネを着用してください。
・インクハックは、開封してから3カ月以内に使い切ってくた さい。開封後、長時間経過したものは、プリント品質が低下 します。	 本機の状態を良好に保つため、ワイパーとキャップの清掃を こまめに行い、ほこりや紙粉を取り除いてください。
 ・不要になったインクパック・廃インクは、販売店またはサービス実施店へお渡しください。なお、お客様自身で廃棄処理される場合は、産業廃棄物処理業者または各国の地域の条例に従って処理してください。 	
メディアの取り扱い	
 ・ 推奨メディアをご使用ください。 安定した高画質でプリントするには、弊社推奨のメディアをご使用ください。 	
 メディアの特性に合わせ、ヒーター温度を設定してください。(ヒーター搭載機) メディアの種類や特性に合わせて、ポストヒーターの温度を設定してください。また、専用 RIP からプロファイル指定により自動温度設定を操作パネルから指定する方法があります。指定方法は、お使いの RIP の取扱説明書を参照してください。 	
 メディアの伸縮にご注意ください。 包装を開けて間もないメディアは、使用しないでください。 室内の温度や湿度によって、メディアが伸縮する場合があります。 包装を開けて、使用する場所で30分以上さらしてから装置に取り付けてください。 	
 カールしたメディアは使用しないでください。 メディアづまりの原因になるだけでなく、画質にも影響を及ぼします。 また、カールのきついメディアは、カールを取り除いてから使用してください。コーティングした定型サイズ紙をまるめて保管する場合は、コーティング面が処側になるようにして 	
ください。 ・メディアをセットしたまま、ヒーターオン状態で長時間放置	
しないでくたさい。	
・メディアは袋に入れて保管してください。メディアに付着し	
たホコリを拭き取ると、静電気により逆効果になります。	
にしないでください。メディアの上にホコリが付着してしまいます。	

設置上のご注意 注意 直射日光が当たる場所 水平でない場所 エアコンなどの 振動が発生する場所 風が直接当たる場所 5 温度や湿度の変化が 激しい場所 火を使う場所 •次の環境下でお使 いください。 •使用環境: $20\sim 30~{}^\circ\!\mathrm{C}$ (68 \sim 86 °F) $35\sim 65$ % (Rh)

安全インターロックについて

本機は安全のため、プリント中などにカバーが開いた場合 に動作を中断させるためのインターロックがついていま す。

(下図の赤丸部分)



警告ラベルについて

本機には、下記の警告ラベルが貼ってあります。警告ラベルの内容を十分理解してください。 なお、警告ラベルが汚れて読めなくなったり剥がれた場合は、新しい警告ラベルを販売店または弊社営業所にてお買い求 めください。



No.	注文番号	ラベル
1	M910931	COVER HAZARD May result in severe injury. When open and close the cover, hold a cover until the end. COVERCLE-DANGER Paut entraîner de graves blessures. Lors de l'ouverture ou de la formeture du couvercle, teni le couvercle, jusqu'à la fin. カバーの開開は、最終まで手 を添えて行ってください。
2	M907833	
3	M903239	
4	M903330	
5	M903405	
6	M907935	A
7	M905811	

第 1 章 ご使用の前に



この章では…

本装置の各部の名称や設置方法など、ご使用の前に知っておいていただきたいことについて説明します。

USB2.0 インターフェイスケーブルを	
接続する	1-9
LAN ケーブルを接続する	1-9
電源ケーブルを接続する	1-10
インクについて	1-11
使用できるインクについて	1-11
インクをセットする	1-11
インクパック取り扱い上のご注意	1-14
メディアについて	1-15
使用可能メディアサイズ	1-15
メディア取り扱い上の注意	1-15
メニューモードについて	1-16



設置場所について

本機を組み立てる前に、設置するスペースを確保してください。

本体の大きさとプリントのために必要なスペースを考慮 して設置します。

機種	横幅	奥行き	高さ	全体重量
TS300P-1800	3200mm	850mm	1857mm	213kg



使用環境温度について

本機は安定したプリントを行うために、20 ~ 30 ℃の環 境でご使用ください。

本機の移動

本機をやむを得ず、段差のない同一フロア内で移動する場合は、下記のように行ってください。





- 移動するときは、大きな振動を与えないでくださ
- い。 ・移動後は、必ずキャスターをロックしてくださ い。





巻取脚を上げる



ロールガイドステーのアジャスターフットを 上げる

 \langle





各部の名称とはたらきについて

装置前面

メンテナンスカバー(上)

メンテナンス時にカバーを開けます。電源スイッチが オフの場合でも、カバーは閉じておいてください。



メンテナンス時にカバーを開けます。電源スイッチが オフの場合でも、カバーは閉じておいてください。

装置背面 / 側面



操作パネル

操作パネルは、プリント方法の設定、各種操作に使用します。





・電源スイッチをオンにすると操作パネル下の電源スイッチが青に点灯し、オフにすると消灯します。主電源スイッチ (◯◯ P.1-5)をオンにしておくと、電源スイッチをオフにしても定期的にインク詰まり防止動作を行います。 (オートメンテナンス機能)

*1:インクの状態について

ディスプレイにインクカートリッジの状態(インク残量 / エラーなど)をアイコンで表示しています。 各々のアイコンについて説明します。

アイコン	内容								
	インク残量を9段階で表示します。右に行くに従って、インク残量が少なくなっています。								
M	M		M	M-	M-	M -	M -	- M -	- M -
	インクフル	約 1/8 消費	約 1/4 消費	約 3/8 消費	約 1/2 消費	約 5/8 消費	約 3/4 消費	約 7/8 消費	ニアエンド
- M -	インクエンド (4 色インクセット使用時のみ) やインクニアエンドになると表示します。								
	インクエンドまたはインクエラー(カートリッジ未装着など)状態で、カートリッジが使用できないことを表します。								
	インク期限切れ、期限切れ 1ヶ月を示します。早めに使用してください。インク期限切れ 2ヶ月を過ぎると使用できなくなります。								

*2: [FUNC1] ~ [FUNC3] に割り当てられている機能

[FUNC1]~[FUNC3]に割り当てられている機能の内容を説明します。

アイコン	内容
MENU	各機能を設定する "MENU" が表示されます。
TEST PRINT CLEANING	テストプリント・クリーニング等のメンテナンス機能が表示されます。
REMOTE	ローカルで、リモートに移行し、プリントを開始します。
ADJUST	フィード補正、ドット位置補正等の調整機能が表示されます。
HEATER	ヒーター温度の設定を行います。
DATA CLEAR	データクリアを実行します。
LOCAL	リモートにてプリントを中断し、ローカルへ移行します。
СИТ	メディアカットを実行します。
>	MENU 画面等で、複数の項目がある場合、次のページへ移動します。
~	MENU 画面等で、複数の項目がある場合、前のページへ移動します。
ОК	警告メッセージが表示された場合など、確認の完了を行う場合に使用します。
OFF	ヒーター設定を OFF にする場合など、機能を OFF や無効にする場合に使用します。
\downarrow	何らかの設定や機能が割り当てられています。各機能の説明に従い、操作してください。
8	クリーニングの対象ヘッド選択など、複数の項目を選択する場合に有効 / 無効を切替えます。

挲

本機の状態によって、アイコンの色は変化します。
 アイコンの色が緑色のとき:本機がリモートの状態になっている
 アイコンの色が紺色のとき:本機がローカルの状態になっているとき
 アイコンの色が黄色のとき:ワーニングが発生しているとき
 アイコンの色が赤色のとき:エラーが発生しているとき

メディアセンサー

メディアセンサーは、メディアの有無とメディア長を検出します。

プラテン上(背面側)にメディアセンサーが2箇所あります。



(重要!) ・メディアをセットするときは、プラテン後部側に あるメディアセンサーを覆い隠すようにセットし てください。センサー上にメディアがないと、メ ディア検出を実行できません。

キャリッジ

キャリッジには、プリント用のインクヘッドやセットする メディアの幅を手動で設定する (公P P.2-9) ために使う "LED ポインタ"、メディアカット用のカッターユニット などが内蔵されています。

また、メディアの厚さに合わせて、ヘッドの高さを調整するレバーが付いています。(公P P.2-4)



カッター刃とカット溝

キャリッジにはメディアをカットするカッターユニット が付いています。

プラテンのカット溝に沿ってメディアをカットします。



キャッピングステーション

キャッピングステーションは、インクキャップやヘッドの メンテナンスに必要なワイパーなどで構成されています。 インクキャップは、インクヘッドのノズル乾きを防ぎま す。

ワイパーは、ヘッドのクリーニングに使用します。 ワイパーは、消耗品です。ワイパーが変形したりメディア が汚れる場合は、新しいワイパーに交換してください。



 キャッピングステーション内をクリーニングする 場合は、必ず付属の保護メガネを着用してください。目にインクが入る危険があります。



ピンチローラーとフィードローラー

本機は、「ピンチローラー」と「フィードローラー」でメ ディアを保持し、プリント時にメディアを前側に送り出し ます。

 ・本機を使用しない時は、ピンチローラーを上げた 状態にしておいてください。ピンチローラーを下 げたまま長時間放置しておくと、ピンチローラが 変形し、メディアを確実に保持できなくなる場合 があります。





? ×

♠

1-9



接続後、以下を確認してください。

- (1) プリンタの画面表示を確認する。
 - ローカル画面、メディア検出画面から [ENTER] キーを数 回押し、情報画面を表示する。
 - ・LAN ステータスの項目に「1000Mbps」と表示されている ことを確認する。
- (重要!)
 [100Mbps], [10Mbps], [接続なし] と表示してい る場合、LAN を使用して印刷を行うことができま せん。
 - [100Mbps], [10Mbps] の場合、イベントメール (役) 3章「イベントメール機能の設定」)は使用 できます。



 (2) LAN コネクタの緑ランプを確認する
 ・本体起動後、以下のように LAN コネクタのランプが点灯 します。

色	状態	状態
点灯		1000BASE-T で接続
市水	消灯	1000BASE-T 以外で接続
	点灯	リンクアップ
黄	点滅	データ受信中
	消灯	リンクダウン

(重要!) ・黄色のみが点灯もしくは点滅している場合、 1000Mbpsとなっていません。PC、機器、ケー ブルの仕様を確認してください。



インクについて

使用できるインクについて

本機で使用できるインクは、昇華転写インク (Sb410/ Sb411) になります。

(重要!)・使用できるインクについて、詳しくは P.6-3 「インク仕様」および P.6-4「インクカート リッジのセット順」をご参照ください。

インクをセットする



(2) 2L インクパックのコネクタ部に着いている シールを剥がす





シール残りがあると、2Lインクパックを台座から取り外した際、インクが大量に漏れる可能性があります。かならずシール残りがないように注意してください。



(3) コネクタ部を下にして 2L インクパックを入 れ、2L エコケースを閉じる





- 2L インクパックを入れるときは、2L エコケース内にあるラベルに従って、形を整えてください。形を整えずにインクパックを入れると、インクを使い切れない場合があります。
- 2L エコケースを閉じる前に、2L エコケースの溝 部にインクパックのコネクタが合っていることを ご確認ください。コネクタが溝部に合っていない 状態になってると、インク供給ができなくなるこ とがあります。



2L エコケースを台座に取り付ける

- ・2L エコケースから接続しているプリンターにイ ンクが供給されます。
- ・1~2分すると、接続しているプリンターの EMPTY ランプが消灯します。





 2L エコケースは、奥までしっかりと押し込んで ください。+分に押し込まれていないと、インク が供給されない場合があります。

2L インクパックを交換する

ディスプレイに[インクエンド]や[インクニアエンド]な どが表示されたときは、次のようにしてください。



・2Lインクパックを交換するときは、必ず付属の 保護メガネを着用してください。 誤って、インクが目に入る可能性があります。



・使用後、インクパックに 10cc 程度のインクが残 りますが、実使用量が 2L になるよう充填されて います。





台座についているレバーを押し下げ、2L エコ ケースを取り外す





交換する2Lインクパックに付属しているイン ク IC チップを取り付ける



・インク IC チップの金属部分には触れないように ご注意ください。静電気が発生し、インクIC チップが破壊する恐れがあります。

インク IC チップ

• 2L インクパックを使いかけの状態で取り外すと きは、次のようにしてください。 インクの残量を正確に管理できなくなります。 (1) 2L エコケースから使いかけの2L インクパッ

クを取り外す (2) 綿棒などを使い、2L インクパックのコネク タ部の内側に付着したインクを拭き取る



- (3) インク IC チップを取り外し、2L インクパッ クと一緒に保管する
- (4) 再度使用するときは、2Lインクパックをセッ トし、一緒に保管しておいたインク IC チッ プをセットする

● [インクニアエンド]が表示されたとき

インク残量が少なくなっています。続けてプリントを することはできますが、プリント中にインクがなくな る恐れがあります。早めにインクパックの交換をする ことをお勧めします。



(重要!) ・[インクニアエンド]表示中は、オートクリーニ ングは動作しません。(22 P.3-11)

インクカートリッジランプについて

インクカートリッジの下にあるランプで、セット中のイン クカートリッジの状態を確認することができます。



ランプの状態	説明
青色に点灯	異常なし(インク供給中)
消灯	異常なし
黄色に点灯 または点滅	次のいずれかのエラーを発生しています。 ・インクニアエンド ・インク期限切れ (1ヶ月)
赤色に点滅	インク期限切れ (2ヶ月)
赤色に点灯	次のいずれかのエラーを発生しています。 ・インクエンド ・インク IC チップが挿入されていない ・その他のインクエラー (CP P.5-7)

インク使用期限について

インクカートリッジには使用期限があります。 使用期限を過ぎると、ローカルとガイダンスメッセージに メッセージが表示されます。(CPP P.5-5、 P.5-7) カートリッジに記載してある期限の翌々月までは使用可 能ですが、3か月後になった時点で使用できなくなりま す。LED「赤」が早く点滅してお知らせするので、交換し てください。

例) 消費期限の記載が4月の場合 5月:使用可能 6月:使用可能(LED 黄点灯) 7月:使用不可(LED赤点滅)

名称について

本書では、2Lインクパック/2Lエコケース/インクICチッ プの 3 つを合わせて「インクカートリッジ」と言う名称 で説明しています。





・本体にエコケースをセットするときの注意点

メディアについて

使用可能なメディアサイズと、その取り扱い方法について 説明します。

使用可能メディアサイズ

	機種名	TS300P-1800
推對	愛メディアの種類	転写紙
最大	大幅	1950mm
最/	小幅	210mm
最大	トプリント範囲	1940mm
	厚さ	1.0mm 以下
Γ γ	ロール外径	Φ250mm 以下 (紙メディア) Φ210mm 以下 (その他)
л Х	ロール重量	40kg 以下
=	紙管内径	2インチまたは3インチ
	プリント面	ロール外側面
	巻き終り処理	紙管にテープ止めまたは弱粘着

メディア取り扱い上の注意

メディアの取り扱いについて、次の点にご注意ください。

- (重要!)・推奨メディアをご使用ください。
 - 安定した高画質でプリントするには、弊社推奨の メディアをご使用ください。
 - メディアの伸縮にご注意ください。
 包装を開けて間もないメディアは、使用しないでください。室内の温度や湿度によって、メディアが伸縮する場合があります。包装を開けて、使用する場所で30分以上さらしてから装置に取り付けてください。
 - ・カールしたメディアは使用しないでください。 紙詰まりの原因になります。コーティングした定 型サイズ紙をまるめて保管する場合は、コーティ ング面が外側になるようにしてください。
 - ・メディアのフチのホコリにご注意ください。 ロールによっては、包装に含まれるホコリがロール端面に溜まっていることがあります。そのまま お使いになると、ノズル抜けやインクのボタ落ち などによるプリント品質劣化の原因となりますの で、ロール端面についたホコリを取り除いてから セットしてください。

メニューモードについて

本機には4つのモードがあります。各メニューモードについて説明します。

ノットレディモード

メディアを検出する前のモードです。

ローカルモード

ローカルモードは、プリント準備状態のモードです。 全てのキーが有効です。 コンピュータから、データを受信できます。ただし、プリントは行いません。



ローカルでは以下の操作が可能です。

- ・ジョグキーを押して、プリント原点やプリント範囲を設定します。
- [ENTER] キーを押して、インク残量、カートリッジエラーの内容、機種名およびファームウェアバージョンなどを確認します。

メニューモード

ローカル時に、[FUNC1] キーを押すとメニューモードになり、各機能を設定できます。

リモートモード

受信したデータをプリントします。

第2章 基本的な使い方



この章では ...

プリントするためのインク/メディアの準備や、プリントまでの手順や設定方法について説明します。

作業の流れ	2-2
電源を入れる/切る	2-3
電源を入れる	2-3
電源を切る	2-3
メディアをセットする	2-4
ヘッド高さを調整する	2-4
ロールメディアをセットする	2-5
テンションバーを使ってロールメテ	[・] ィアを
セットする	2-7
巻取装置について	2-10
リーフメディアをセットする	2-14
原点を変更する場合は	2-15
ヒーターの準備をする	2-15
ヒーターの温度設定を変更する	2-15
テストプリントをする	2-16
テストプリントを行う	2-16

ヘッドクリーニング	2-17
ヘッドクリーニングについて	2-17
テストプリントの結果に合わせて	
ヘッドクリーニングを行う	2-17
フィード補正の設定	2-17
フィード補正の設定	2-17
ドットの位置がずれたら	2-18
データをプリントする	2-18
プリントを開始する	2-18
プリントを中止する	2-19
受信したデータを消去する	
(データクリア)	2-19
、 プリント完了後の動作	2-19
メディアをカットする	2-19

作業の流れ

1	電源を入れる / 切る	「電源を入れる / 切る」(22° P.2-3) を参照してくだ さい。
2	メディアをセットする	「メディアをセットする」(@PP.2-4)を参照してく ださい。
3	テストプリントをする	「テストプリントをする」(燈 P.2-16) を参照して ください。
4	ヘッドクリーニング	「ヘッドクリーニング」(28°P.2-17) を参照してく ださい。
5	データをプリントする	「データをプリントする」(頌PP.2-18) を参照して ください。



(END/POWER) キーを長押しして、電源を切る 装置側面にある主電源スイッチは、切らないでく ださい。 ・次に、本機をご使用になるときは、[END/POWER] キーを押してからお使いください。 0000 <u>'</u>900 ° [END/POWER] +.

電源を切るときのご注意

主電源スイッチは切らないでください。

主電源スイッチが入っていると、定期的に電源が入り ノズル詰まり防止機能(フラッシング機能)が働きま

主電源スイッチを切っていると、フラッシング等の オートメンテナンス機能が働かず、ノズル詰まりの原 因となります。

・ フロントカバー/メンテナンスカバーは閉めた状態 にしてください。

カバーが開いていると、フラッシング等のオートメン テナンス機能が働かなくなります。

ヘッドの位置を確認してから電源を切ってくださ

ヘッドがキャッピングステーションに戻っていない 状態で電源を切ると、ヘッドが乾燥してノズル詰まり の原因となります。 このときは、再度、電源を入れ、ヘッドがキャッピン グステーションに戻ったことを確認してから電源を

▶ プリント中は電源を切らないでください。

ヘッドがキャッピングステーションに戻らないこと があります。

[END/POWER]キーで電源を切ってから、主電源ス イッチを切ってください。

装置の移動や装置のエラー対処等で主電源スイッチ を切る場合、必ず、装置前面にある [END/POWER] キーを長押し、操作パネルのディスプレイ表示が消え ていることを確認してから主電源スイッチを切って ください。

メディアをセットする

本機では、ロールメディアとリーフメディアをご使用になれます。

使用できるメディアについては、P.1-15「使用可能メディ アサイズ」を参照してください。



 ・ロールメディアをセットするときは、メディアを 足などに落とさないように注意してください。メ ディアの重みで怪我をすることがあります。

 ロールメディアをセットする場合は、2人以上で セットしてください。ロールメディアの重みで腰 を傷める可能性があります。

 ヘッド高さの調整は、メディアをセットする前に 行ってください。メディアをセットしたあとに調 整すると、メディア詰まりやプリント品質の低 下、ヘッドの破損の原因となります。



 メディアを中央にセットする場合、巻き取り延長 ケーブルを使用してください。

使用目的に応じヘッド高さを調整してください。

ヘッド高さを調整する

ヘッド高さ(メディアからヘッドノズル面までの高さ)を 設定します。

プリント時やメンテナンス機能などでヘッドがプラテン 上へ移動する動作が行われる際に、設定されているヘッド 高さ位置に移動します。

ヘッド高さの上限は、メディア厚により変化します。 設定値:[2.0 mm~7.0 mm](0.1 mm単位)





キャリッジがプラテン上に移動します。



3

正面にある高さ調整ネジを緩める、 (ENTER)キーを押す

マイナスドライバー等を使って、1回転程度回して緩めます。





高さ調整ハンドルをメディアに応じて調整す る

- ● を押しながら ❷ を回して調整します。
- ディスプレイ表示を見ながら、適正な値に調整してください。





7

キャリッジを固定する ・ネジは緩まないように確実に締めてください。





終了するとき、(END/POWER)キーを数回押す











巻取装置にメディアを固定する 16 (CPP.2-10)

- (1) [▼]を押して、巻取装置の紙管に 届くまでメディアをフィードする (2) 粘着テープでメディアの中央を固定する
- (3) 同様にしてメディアの左右を固定する ・ロールメディアを左右均等に引っ張り、メ ディアにタルミ、シワが無いことを確認し、 テープを貼ってください。



テンションバーを使ってロールメディ アをセットする

メディアをセットする際は、次の注意事項を良くご理解く ださい。

- マシン設定の「巻取ユニットの設定」で巻取 1 テンションバーを "ON" にする (紹子P.3-16)
- 「ロールメディアをセットする」手順1~12ま 2 での操作をする
- 3 フロントカバーを閉じる





50.0m
マニュアルメディア幅 設定について マシン設定の「メディア検出」の中の検出方法の設定を "MANUAL" にしている場合 (CPP P.3-17)、次のようにして メディア幅を設定してください。 メディア検出画面を表示する 1 メディア検出 プリントエリア設定 MANUAL POST2 プリントエリアの設定方法を選択する 2 ・プリントエリアの設定方法には、ジョグキーを 使ってメディアの右端と左端を設定する "MANUAL"とメディア幅を入力したあと、メディ アの右端位置を決定する"メディア幅入力モード "があります。 "MANUAL" を選択した場合は、手順3へ進んでく ださい。また、"メディア幅入力モード"を選んだ 場合は、次のようにしてください。 (1) [▲][▼]を押して、メディア幅を入力する (2) [ENTER] キーを押し、手順3からの操作を する (へ) を押して、LED ポインタの光点を 3 メディアの右端位置に合わせる キャリッジに内蔵されているLEDポインタの光を メディアの右端に合わせます。 右端位置設定 * *. * <u>+0</u>0 (ENTER) キーを押す 4 次に、左端メディア位置入力画面が表示されます。 手順2で"メディア幅入力モード"を選択した場 合は、この画面は表示しないで設定終了します。 左端位置設定 **.* 400 ・ ・ と を 押して、LED ポインタの 光点を 5 メディアの左端位置に合わせる 手順3と同様にして、LEDポインタの光をメディ アの左端に合わせます。 (ENTER)キーを押す 6 (重要!) ・メディア外へのプリントやカットを行ってしまう

場合があるので、メディアの範囲を超えて設定し

ないよう注意してください。

メディア厚さ入力について

マシン設定の「メディア検出」の中の厚さ入力の設定を "ON"にしている場合((2000 P.3-17)、次のようにしてメディ アの厚さを設定してください。



2

巻取装置について

小幅巻取装置のスイッチを使って、メディアの巻き取り方 向の選択などができます。



*	方向切換	上 (REVERSE)	プリント面を内側にして巻き取る	
	スイッチ	下 (FORWARD)	プリント面を外側にして巻き取る	
u取装置	オン/オ	フボタン	巻取動作のオン/オフを切り替える (ボタンを押して巻取装置を動作さ せると、再度ボタンを押すまで巻 取動作を継続します。 ^{*1})	

*1. オン / オフボタンを押している間だけ、巻取動作をするように設定 できます。詳しくは、マシン設定の「巻取ユニットの設定」(公子巻 取ユニットの設定)を参照してください。

トルクリミッターを調節する

巻取装置には、トルクリミッターが付いています。トルク リミッターを調整して、巻取の強さを変更できます。(エ 場出荷時は、トルクリミッターを"中"で設定してあります。) 薄いメディアを使用してテンションが強すぎる時は、調節 を弱めてください。

時計回り :テンションが強くなる(ターポリン等の重量のある厚いメディア) 反時計回り :テンションが弱くなる(軽いメディア)



- (重要!)・トルクリミッターの調節が弱いと メディアを確実に巻き取ることができません。
 - トルクリミッターの調節が強いと
 メディアによってはたるんでしまい、画質に影響
 する場合があります。

 テンションバーをお使いになる 場合には、トルクリミッターを 最大トルクの75%~100%の間 で調整してください。
 トルクリミッターの調整をする ときは、付属のトルク調整ハン ドルをお使いください。



- 心。 《
- ・プリンターでメディアを巻き取る場合、次の2つ の方法があります。
 - (1) 巻取装置のみでメディアを巻き取る
 - (2) テンションバーを使ってメディアを巻き取る

テンションバーの重量調整用カウンター ウェイトの取り付け (1)



 ・大/小2種類のカウンター ウェイト(大(100g x 4 枚)/小 (50g x 20 枚))が添付されてい る場合は、以下のようにして カウンターウェイトを取り付 けます。



 メディアの張り具合を確認し、 適切なウェイトを取り付けて ください。

メディアの性質によって、カウンターウェイトを取り付けてください。

カウンターウェイトは、左右それぞれに最大 12枚(大:2枚、小:10枚)まで取り付けることができます。

メディアの状況	対策		
メディアの送り方向にシワ	メディアにかかるテンションが		
が発生する	強すぎます。		
プリント時にメディアが蛇	ウェイトを外して、テンション		
行する	バーを軽くしてください。		
メディアがたるんでキレイ	メディアにかかるテンションが		
に巻き取れない	弱すぎます。		
プラテン上でメディアが浮	ウェイトを取り付けて、テン		
いている	ションバーを重くしてください。		





(重要!) 取付可能なカウンターウェイトの枚数について

- ・取り付けられるカウンターウェイトの枚数は、メ ディア巻取後の外径および、巻取装置の状態によ り異なります。
 - ・プリンターの巻取装置についているトルクリミッ タの代わりに AMF キットに付属しているモー ター直結ユニットを取り付けることができます。
 その場合、テンションバーに取り付けられカウン ターウェイトの枚数が異なります。

トルクリミッタの場合

メディア外径 ^{*1}	巻き方向	上限枚数
Ф80mm	内巻き	12 枚 (大x2+小x10)
400mm	外巻き	12 枚 (大x2+小x10)
Ф150mm	内巻き	12 枚 (大x2+小x10)
4 loonini	外巻き	4枚(大x0+小x4)
ወ250mm	内巻き	6枚(大x0+小x6)
4200mm	外巻き	0 枚

*1. 上記以外の外径のメディアをお使いの場合、下 表を参照にして、上限枚数を確認してください。



モーター直結ユニットの場合

メディア外径 ^{*1}	巻き方向	上限枚数
Ф150mm		12 枚 (大x2+小x10)
Ф250mm		6枚(大x0+小x6)

*1. 上記以外の外径のメディアをお使いの場合、下表を参照にして、上限枚数を確認してください。



 上限以上のカンターウェイトは取り付けないでく ださい。

 使用しないカウンターウェイトは、保管箱に入れ 紛失しないようにしてください。 す。

テンションバーの重量調整用カウンター ウェイトの取り付け(2)







・メディアの張り具合を確認し、適切な ウェイトを取り付けてください。

メディアの性質によって、カウンターウェイトを取り付け てください。

カウンターウェイトは、左右それぞれに最大14枚まで取 り付けることができます。

メディアの状況	対策		
メディアの送り方向にシワ	メディアにかかるテンションが		
が発生する	強すぎます。		
プリント時にメディアが蛇	ウェイトを外して、テンション		
行する	バーを軽くしてください。		
メディアがたるんでキレイ	メディアにかかるテンションが		
に巻き取れない	弱すぎます。		
プラテン上でメディアが浮	ウェイトを取り付けて、テン		
いている	ションバーを重くしてください。		





・一番下のカウンターウェイトを取り付け/取り外 掌 ししたいときは、取付ネジを充分に緩めてくださ い。ネジが充分に緩んでいないと、最初から付い ているウェイトのネジにカウンターウェイトが 引っかかり、外れないことがあります。

取付可能なカウンターウェイトの枚数について (重要!)

- ・取り付けられるカウンターウェイトの枚数は、メ ディア巻取後の外径および、巻取装置の状態によ り異なります。
- ・プリンターの巻取装置についているトルクリミッ タの代わりに AMF キットに付属しているモー ター直結ユニットを取り付けることができます。 その場合、テンションバーに取り付けられカウン ターウェイトの枚数が異なります。

トルクリミッタの場合

メディア外径 ^{*1}	巻き方向	上限枚数
ወ 80mm	内巻き	14 枚
400mm	外巻き	14 枚
ወ150mm	内巻き	14 枚
<i>q</i> roomin	外巻き	4 枚
ወ250mm	内巻き	6 枚
4200mm	外巻き	0枚

*1. 上記以外の外径のメディアをお使いの場合、下 表を参照にして、上限枚数を確認してください。



モーター直結ユニットの場合

メディア外径 ^{*1}	巻き方向	上限枚数
Φ150mm		14 枚
Ф250mm		6枚

*1. 上記以外の外径のメディアをお使いの場合、下 表を参照にして、上限枚数を確認してください。



・上限以上のカンターウェイトは取り付けないでく ださい。

・使用しないカウンターウェイトは、保管箱に入れ 紛失しないようにしてください。





ヒーターの準備をする 原点を変更する場合は プリント原点の位置を変更することができます。 ヒーターの温度設定を変更する 変更したい位置へLEDポインタを移動させて決定します。 ヒーターの温度設定は、設定メニューの「ヒーター」また ローカルで、(▲) マ (4) を押す は「オプションヒーター」で変更・保存できます。 1 (@P.3-6、P.3-7) ・原点設定モードになります。 ここでは、設定モードで設定した温度の変更方法について 説明します。 原点設定 お使いになるメディアに合わせて、ヒーター温度を設定し Х Υ てください。 0.0 0.0 お買い上げ時、ヒーターの温度設定は "OFF" になってい ます。 プリント中にも温度の調整ができるため、適切な温度調整 <u>0</u>0 ができます。 周囲の温度により、設定した温度に到達するまでに数分か 🔺 🗨 💽 を押して、 LED ポインタ ら数十分かかることがあります。 2 の光点を変更したい位置へ合わせる • [▲][▼][◀][▶]でキャリッジとメディアを移動させ ローカルで (SEL) キーを押し、 1 て選びます。 (FUNC2) (HEATER) を押す ヒーター温度調節画面を表示されます。 プリント原点を決定したら、(ENTER)キーを 3 (▲)(▼)(◀)(▶)を押して、各ヒーターの 2 押す 温度を設定する ・原点が変更されます。 ヒーターの選択: [◀][▶] で選ぶ : [▲][▼] で設定 温度の設定 ヒーターの加熱が始まります。 原点設定位置の目安 3 ヒーターの加熱が終了する プリント原点は、奥行方向 (X') はプラテン上にあるカッ ・ヒーターの温度が設定温度に達すると、ディスプ ト溝から奥側約75mmの位置になります。 レイのヒーターアイコンが緑色に変わります。 横方向 (Y') の値は、メディア右端より 15 mm です。設定 メニューの「マージン」(22° P.3-8)により変更できます。 終了するとき、(ENTER)キーを押す 4 また、ジョグキーを使って変更することもできます。 ローカルに戻ります。 本機は、20~30℃の環境で使用してください。 (重要!) 周囲の温度条件により、設定値まで温度が上昇し ない場合があります。 • TS300P には、本体に 2 つのヒーター (POST1, 15 mm (Y') POST2) と、オプションの FAN ヒーターがあり カット溝 ます。 通常、設定温度の±3℃が印刷可能になる温度で 約 75 mm (X') す。しかし、他のヒーターの温度の影響を受けや すいため、以下の仕様で印刷可能です。 ヒーター ヒーター仕様 の種類 最大設定温度 =50℃ (ただし POST2 より高い温度には設定で POST1 きない) POST2の温度の影響を受けるため、+側 の温度は3℃より高くても印刷可能。 最大設定温度 =60℃ オプションの FAN ヒーターを取り付けた POST2 場合、オプション FAN ヒーターの影響を 受けるため、+側の温度は3℃より高く ・手順2で[FUNC3] (OFF)を押すと、全ヒーター 獄 が "OFF" になります。 また、[FUNC1] を押すと、POST1/POST2 ヒー ターが 10℃ ずつ上がります。

2-15



ヘッドクリーニング

ヘッドクリーニングについて

プリントしたテストパターンの結果を確認して、症状に合わせたクリーニングを行います。 次の3種類から選んでください。

ノーマル:線の抜けがある時

- **ソフト**:ヘッドワイプのみ実行したい時(線の曲がりが ある場合)
- **ハード** : ノーマル、ソフトでクリーニングを実行して も画質不良が改善しない時

テストプリントの結果に合わせてヘッ ドクリーニングを行う

ヘッドクリーニングには、3種類あります。パターンプリントの結果によって使い分けてください。

1 □ーカルで、FUNC2) (TEST PRINT/CLEANING)
◆ ● ENTER キーを押す

クリーニングメニューが表示されます。



- ノーマル:線の抜けがある時
- ・ソフト : ヘッドワイプのみ実行したい時(線の 曲がりがある場合)
- ・ハード : ノーマル、ソフトでクリーニングを実行してもプリント不良が改善しない時
- (ENTER)キーを押す



再度テストプリントを実行し、プリント結果 を確認する



- ヘッドクリーニングを実行しても画質品質が改良 されない場合
- ワイパーとインクキャップのクリーニングをする (②PP-4-6)
- ヘッドノズルの洗浄をする (CP P.4-7)

フィード補正の設定

お使いになるメディアの種類に合わせて、メディアの送り 量を補正してください。

補正値が適切でないと、プリントした画像に縞が入るな ど、きれいにプリントできない場合があります。

- ・ロールメディアをご使用の場合、フィード補正を 終了すると、プリント原点位置までメディアが戻 り、本機背面のロールメディアにたるみが生じま す。 プリントを開始する前にロールメディアを手で巻 き戻し、たるみのない状態にセットしてくださ い。画質不良の原因になります。
 ・巻取装置を使用してのプリントの場合、あらかじ
 - ・

 巻取装置を使用してのフリントの場合、あらかじ
 めメディアをセットした状態でフィード補正を
 行ってください。

フィード補正の設定

補正パターンをプリントして、メディア送り量の補正を行 います。

・補正パターンでは2本の帯をプリントします。
 ・2本の帯の境が均等の濃さになるように調整してください。





・調整メニューが表示されます。

- 3 (ENTER) キーを2回押して、補正パターンを プリントする
- 4 補正パターンを確認し、補正値を入力する ・ 補正値の入力画面が表示されます。 ・ " + " に入力すると:
 - 2本の帯の間隔が広がる方向に移動します。 ・"-"に入力すると:
 - 2本の帯の間隔が近づく方向に移動します。
 - 補正値を "30" 変更するごとに、約 0.1mm 帯が移動します。



4

プリント開始

 ・解像度によっては同じデータをプリントしても、 セットしたメディアの幅やプリント原点の位置に よってプリント速度が変化する場合があります。

プリントを中止する

プリントを途中で中止する場合、次の操作をしてくださ い。



プリント中に、FUNC3) (LOCAL) を押す

- ・プリント動作を中止します。
- コンピュータからデータを送信している場合は、
 コンピュータ側でデータ送信を止めます。
- 再度 [REMOTE] キーを押すと、中断したデータか らプリントを再開します。



プリントを中止したいときは、受信済みのデータを消去し てください。



ローカルで(SEL)キーを押し、 (FUNC3) (DATA CLEAR) を押す



(ENTER)キーを押す

・受信データを消去し、ローカルに戻ります。

プリント完了後の動作

乾燥フィード

マシン設定の「乾燥フィード」の設定を"OFF"以外に設定している場合、プリントが完了すると印刷面をオプションヒーターユニット1800や外部ヒーターによって乾燥させるため、フィード動作を行います。

- プリントの後端がヒーターを通過するまでフィー ド動作を行います。
- [END] キーを押すと動作を中止します。
- 連続して次のデータを受信している場合、最後の データ完了後のみ動作します。

乾燥フィード中の画面表示



メディアをカットする

操作パネル上のキーを使い、任意の位置でメディアをカットします。



ローカルで、(▲) マ (4) ト を押す

 ・原点設定モードになります。
 •[▼]を押して、カットする位置までメディアを フィードします。





(FUNC2) (ENTER) キーを押す
 ・メディアをカットします。
 ・カットが終了すると、ローカルに戻ります。



2-19

第3章 セットアップ



この章では ...

本機の各種設定方法について説明しています。

設定メニューについて	3-2
設定メニューー覧表	3-3
使い方に合わせた最適なプリント条件を	
登録する	3-4
フィード補正の設定	3-5
ドットの位置がずれたら	
トーターの設定	
オプションヒーターの設定	3-7
ロジカルシークの設定	0 1
電力塗りの設定 加速の設定 1000000000000000000000000000000000	0 7
<u>単税型</u> 900歳定 乾燥時間の設定	0 0
マージン(左/右)の設定	3_8
	0-0 3_0
- リクレリシュの設定	0-0 3_0
	3-0
フィード 上 低 の 設 定 … … … … … … … … … … … … …	3-3
	2 10
MAF 54 の設定 オートクリーニングの記定	2 11
オートクリーニノクの設定	2 1 1
上期 ノイ しノク の 設定 	. 3-11
外部ヒーターの設定	. 3-12
フリフィートの設定	. 3-12
マジン設定メニューについて	.3-13
マシン設定メニュー一覧表	. 3-14
オートパワーオフの設定	. 3-16
巻取ユニットの設定	. 3-16
トップブロワの設定	. 3-16

メディア残量表示の設定	3-16
PG 着弾調整の設定	3-17
メディア検出の設定	3-17
乾燥フィードの設定	3-18
言語の設定	3-18
時刻の設定	3-18
単位 (温度 / 長さ) の設定	3-18
キーブザーの設定	3-19
確認フィードの設定	3-19
プリント間の余白の設定	3-19
余白フィード方式の設定	3-19
ネットワークの設定	3-20
イベントメール機能の設定	3-20
設定した内容を初期状態に戻す	3-24
ノズルチェックメニューについて	3-25
ノズルチェックメニュー一覧表	3-25
印刷中ノズルチェックの流れ	3-26
「ノズル抜け」判定時ならびにエラー発生	一時の
印刷動作	3-26
印刷中ノズルチェックの設定	3-27
自動ノズルリカバリの設定	3-27
判定条件の設定	3-27
情報メニューについて	3-28
情報メニューー覧表	3-28
情報を表示させる	3-29

設定メニューについて

設定メニューでは、普段使用するメディアに合わせてプリント条件を設定することができます。



- FUNC1:設定メニューを選ぶとき、または、1つ前の画面に切り替
 - えるときに押す
- FUNC3: 次の画面に切り替えるときに押す
- ☆ : 設定項目を選択するときに押す
 ☆
- ENTER: 設定を確定するときなどに押す

◆設定メニューー覧



設定メニューー覧表

(重要!) ・次の各設定項目については、接続しているホスト PC でお使いの RIP ソフトウェアからプリント時に指定した設定値に 従って動作するように設定できます。

・設定項目:ロジカルシーク/重ね塗り/乾燥時間/マージン(左右)/吸着ファン/フィード速度

・各項目を"ホスト"に設定すれば、RIPの設定内容に従って動作します。本機での設定を優先させたいときは、"ホスト" 以外に設定してください。

・RIP ソフトウェアでの指定方法については、RIP ソフトウェアの取扱説明書をご参照ください。

機能名称					RIP から指示 設定値 がない場合*1		概要	
フィード補正 (碇 P.3-5)				-9999 ~ <u>0</u> ~ 9999		メディアの送り量を補正するためのパターンをプ リントし、補正します。		
ドット位置補正 (②P P.3-6)				-40.0 ~ <u>0</u> ~ 40.0		往復プリントにおける、着弾位置の調整を行いま す。		
	POST1				20 \sim 50 $^\circ$ C / OFF		冬ビーターの温度を設定します	
ヒーター	POST2				20 \sim 60 $^\circ$ C / OFF			
(kg P. 3-6)	OFF 時間			<u>無し</u> /0~90分		プリントが終了してから、ヒーターを OFF にす るまでの時間を設定します。		
	FAN HEATER				<u>OFF</u> / LOW/ MID/ HIGH		ヒーターの強さを設定します。	
オプション ヒーター	スタ	シバ	イ時間		<u>無し</u> /0~90分		プリントが終了してから、"LOW" に下がり始める までの時間を設定します。	
(Cg P.3-7)	OFF	OFF 時間			<u>無し</u> /0~90分		プリントが終了してから、ヒーターを OFF にす るまでの時間を設定します。	
ロジカルシーク	7 (22	₽ P.3 ·	-7)		<u> </u>	OFF	プリント中のスキャン可動範囲を設定します。	
重ね塗り (紹子	P.3-8	5)			<u> 赤スト</u> /1 ~ 9 回	1 🗆	インク重ね塗りの回数を設定します。	
乾燥時間	スキ	ャン			<u> </u>	0 sec	インクの乾燥時間を設定します	
((CgP P.3-8)	プリントエンド		1*	<u> </u>	0 min			
マージン/左(۲۶ F	P.3-8)			± 75 $-10 \sim 85$ mm	0 mm	ちちのプリント 全白な乳空」 ます	
マージン/右(۲۶ F	P.3-8)				0 mm		
リフレッシュ (従 P.3-9)				Lv. 0 \sim Lv. 3		プリント中に行うフラッシング動作を設定しま す。		
吸着ファン (頌	P.3	8-9)			<u> 赤スト</u> /弱/標準/強	強	メディアの吸着する力を設定します。	
フィード速度 ^{*2} (頌 P.3-9)				<u>赤スト</u> /10~200%	100 %	プリント中などにメディア送りをする速度を変更 します。		
フィード品質 (沿) P.3-9)				<u>ホスト</u> / 標準 / 高品位	標準	プリント中にメディア送りをする速度、加速度を 変更します。		
	OFF、ファイル、 距離、時間			<i>ι</i> .				
		ファイル 間隔		間隔	$1 \sim 1000$			
				タイプ	ノーマル/ソフト/ハード		プリント前またはプリント中に行う、ヘッドの自	
オート		距離		間隔	$0.1 \sim 100.0 \mathrm{m}$		動クリーニング動作を設定します。	
(@P.3-11)				タイプ	ノーマル/ソフト/ハード			
		時間間		間隔	$10{\sim}120$ min			
				タイプ	ノーマル/ソフト/ハード			
	クリ チェ	ーニ ック	ング	爰	ON/ OFF		オートクリーニング後にノズルチェックを実行す る / しないを設定します。	
定期ワイピング (22 P.3-11)				3~255分, OFF		プリント中に行う、ワイピング動作を設定しま す。		
外部ヒーター (22 P.3-12)				ON/ OFF		外部ヒーターのオン / オフを設定します。		
	AUT	C	MAP	S MODE	標準/高品位			
MAPS4			速度		50~ <u>100</u> %		パス問の縞を軽減します。	
(ੴ P.3-10)	MAN	IANUAL -		ージング ル	0 ~ <u>25</u> ~ 100%			
プリフィード (頌 P.3-12)				<u>OFF</u> / 100 ~ 500mm		メディアの貼り付きやシワを防止のため、プリン ト前にメディアを前後にフィードする長さを設定 します。		
設定リセット (公P P.3-5)					設定1~4で設定した内容を、	個別にリセ	マットできます。 	

*1. 本機で"ホスト"を設定しているのに、RIP ソフトウェア(ホスト)側で設定値の指定がないまたは、装置側の設定値を優先する設定にしている場合の、プ

リント時に使用される設定値です。 *2. 100% 以上に設定した場合、プリント完了までの時間は短くなりますが、十分な乾燥時間が得られずに画質に影響する場合があります。 5





ドットの位置がずれたら

プリント時の条件(メディアの厚み/インクの種類など) が変わったときは、次の操作をして双方向(Bi)プリント 時のインクの落下位置を補正し、適正なプリント結果を得 られるようにしてください。



ヒーターの設定

プラテンには、POST ヒーター1・POST ヒーター2が内 蔵されています。

ヒーターの種類	働き		
POST1	プリント後のインクを乾燥させます。		
POST2			

ここでは、各ヒーターの温度設定の他に、プリントが終了 してからヒーターを OFF にするまでの時間も設定できま



 を押して "OFF 時間 "を選び、 (ENTER)キーを押す



を押してプリント終了後に ヒーターを OFF するまでの時間を設定し、 (ENTER)キーを押す

・設定値: 無し/0~90分

終了するとき、(END/POWER)キーを数回押す







MAPS4の設定

MAPS(Mimaki Advanced PassSystem) 機能とは、パスの 境界を分散させることにより、パス間の送り縞が目立ちに くくさせる機能です。



・MAPS4の設定を変更すると、色味の変化がみら れる場合があります。あらかじめ認を行った上で 使用してください。

・プリントする画像によっては MAPS 機能の効果 が得られない場合があります。あらかじめ効果の 確認を行った上で使用してください。

MAPS 機能が無効になる条件

以下の条件では、MAPS 機能が無効になることがあり ます。また、プリントする画像によっては MAPS の 効果が得られない場合があります。

4色インクセット時

解像度	パス	スキャン速度	MAPS MODE
360x 360	1 pass	標準速	
540x 360	2 pass	高速	t 西 注
720x 720	4 pass	高速	标华
720x 1080	6 pass	高速	

6 色 /7 色 /8 色インクセット時

解像度	パス	スキャン速度	MAPS MODE
360x 360	2 pass	標準速	
540x 360	4 pass	高速	t 西 注
720x 720	8 pass	高速	标华
720x 1080	12 pass	高速	

MAPS4 機能 (AUTO) を設定する





び、(ENTER)キーを押す

標準 : 標準の画質モードでプリントします。 **高品位**: 高画質モードでプリントします。 "標準"よりプリント速度が低下します。



終了するとき、(END/POWER)キーを数回押す

MAPS4 機能 (MANUAL) を設定する

- ローカルで、(FUNC1) (MENU) → (ENTER) キー 1 を押す
- ▲ ▼ を押して設定1~4を選び、 2 (ENTER)キーを押す
 - ・設定メニューが表示されます。

3

(FUNC3) (>>) を2回押す



▲ 💌 を押して "MAPS4" を選び、 (ENTER)キーを押す



▲ ▼ を押して "MANUAL" を選び、 (ENTER)キーを押す

- ・設定値を "AUTO" にする場合は P.3-10「MAPS4 機 能 (AUTO) を設定する」を参照してください。
- 6

▲) (▼)を押して"速度"(50~100%)を選び、 (ENTER)キーを押す

 ・プリントするときの速度を選びます。標準画質の プリントを基準として、プリント速度を遅くした いときは-(マイナス)に、速くしたいときは+(プラス)に設定してください。

・速度を変更した場合、ノズルリカバリ (公) P.3-27) の効果が出ないことがあります。あらかじ (重要!) め確認をしてから、使用してください。



🔺 💌 を押して " スムージングレベル " を 選び、(ENTER)キーを押す



 ●
 ●
 を押してスムージングレベルを変 更し、(ENTER)キーを押す

 ・設定値:0~100%(5%単位で設定) ・設定値を上げると、MAPS4の効果が強くなり、設 定値を下げると MAPS4 の効果が弱くなります。





マシン設定メニューについて

本機を快適に使用するための各種設定です。 マシン設定で設定できる内容は、次の項目です。



- FUNC1: マシン設定メニューを選ぶとき、または、1つ前の画面に 切り替えるときに押す
- (FUNC3):次の画面に切り替えるときに押す
- ∧ : 設定項目を選択するときに押す
- (ENTER): 設定を確定するときなどに押す

◆マシン設定メニュー一覧



マシン設定メニューー覧表

機能得	吕称	設定値	初期値	内容		
オートパワーオフ (æP.3-16)	しない /10 ~ 600min	30min	設定した時間操作がない場合、自動で電源を "OFF" にします。		
巻取ユニット (征) P.3-16)	巻取ユニット	ON/ OFF	ON	巻取ユニットを使用する / しないを設定します。		
	巻取テンション バー	ON/ OFF	OFF	巻取テンションバーを使用する / しないを設定します。		
	巻取スイッチ	継続 / 一時	継続	巻取装置のオン / オフボタンを押したときの動作方 法を設定します。		
	巻取検出ユニッ ト	終了 / 開始		開始を選択すると、巻取検出動作を実行します。		
トップブロワ (従計 P.3-16)	ON	AUTO/ 強い / 弱い	AUTO	プリントロクトッププロロク動作を恐定します		
	OFF			ノリノト中のトラノノロノの動作を改定しより。		
メディア残量 (公野	P.3-16)	ON/ OFF	OFF	メディアの残量を管理することができます。		
ヘッド高さ (C&P P.:	2-4)	$2.0{\sim}7.0$ mm		ヘッド高さの設定をします。		
PG 着弾調整 (②)F	P.3-17)			双方向プリント時、往路と復路のインク落下点の位 置を調整します。		
	検出方法	AUTO/MANUAL	AUTO	メディア検出方法を設定します。		
メディア検出 (CPP P.3-17)	厚さ入力	ON/ OFF	ON	メディア検出時に、使用するメディアの厚みを入力 するか設定します。		
乾燥フィード (CPP P3-18)	乾燥フィード	OFF/ 100 \sim 1000mm	OFF	プリント完了後にメディアをフィードさせる長さを 設定します。		
(Cog P.3-18) バックフィード		ON/OFF	OFF	フィード後にバックフィードをするか設定します。		
LANGUAGE(CP P.3-18)			English	表示言語を変更します。		
時刻設定 (22 P.3-2	18)	+4h \sim -20h	日本時間	現在の日付と時刻を設定します。		
単位 / 温度 (22 P.3	3-18)	°C(摂氏)/°F(華氏)				
単位 / 長さ (CPP P.3-18)		mm / inch mm 長さ、面積の表示単位を設定します。		長さ、面積の表示単位を設定します。		
キーブザー (企 P.3-19)		ON / OFF	ON キーを押したときのブザー音を設定します			
確認フィード (公野	P.3-19)	ON / OFF	ON	テストプリントなどのプリント結果を確認するため にメディアのフィードを行うか設定します。		
ページ間余白 (公子	P.3-19)	無し / 10 ~ 500mm	無し	プリント間の余白を設定します。		
余白フィード方式 (② P.3-19)	間欠 / 連続	間欠	画像データに含まれる余白部分のフィード方式を変 更します。		
	ネットワークの影	定をします。				
	IP アドレス確認	現在、本機が使用中の IP アドレスが表示されます。				
ネットワーク (②ア P.3-20)	MAC アドレス 確認	現在、本機が使用中の MAC アドレスが表示されます。				
	DHCP	ON/ OFF		オンの場合、DHCP サーバーより与えられた IP ア ドレスを使用します。		
	AutolP	ON/ OFF		オンの場合、AutoIP プロトコルにより使用する IP アドレスを決定します。ただし、DHCP が ON の 場合は DHCP を優先します。		
	IP アドレス ^{*1}	本機が使用する IP アドレスを設定します。				
	デフォルト ゲートウェイ ^{*1}	本機が使用するデフォルトゲートウェイを設定します。				
	DNS アドレス ^{*1}					
サブネット マスク ^{*1}		本機が使用するサブネットマスクの桁数を設定します。				

機能得	S 称	設定	定値	初期値	内容
メ (() 送選() イベントメール (()	メール送信 (征) P.3-20)	ON / OFF		OFF	設定したイベントが起こった際に、メールを送信す る機能を設定します。
	送信イベント 選択 (⁽ ② ⁻ P.3-21)	プリント スタート	ON / OFF	OFF	プリント開始時にメールを送信する / しないを設定 します。
		プリントエン ド	ON / OFF	OFF	プリント終了時にメールを送信する / しないを設定 します。
		エラー	ON / OFF	OFF	エラー発生時にメールを送信する / しないを設定し ます。
		ワーニング	ON / OFF	OFF	ワーニング発生時にメールを送信する / しないを設 定します。
		その他	ON / OFF	OFF	上記以外のイベント発生時にメールを送信する / しないを設定します。
	メールアドレス (②P P.3-21)	イベントメールを送信する メールアドレスを設定しま す。		英数字、記号 (96 文字)	
	件名 (颂音 P.3-21)	イベントメールの件名に記載 する文字を設定します。		英数字、記号 (8 文字)	
	サーバー設定 (従了 P.3-22)	SMTP アドレス		SMTP サーバーを設定します。	
		SMTP ポート No.		SMTP のポート番号を設定します。	
		送信元メールアドレス		メールの送信元として使用するメールアドレスを設定します。	
		認証方式	OFF	SMTP サーバーの認証方式を設定します。	
			POP before SMTP		
			SMTP 認証		
		ユーザー名 ^{*2}		認証に使用するユーザー名を設定します。	
		パスワード*2		認証に使用するパスワードを設定します。	
		POP3 アドレス ^{*3}		POP サーバーを設定します。	
		APOP *3		APOP のオン / オフを設定します。	
	テストメール 送信 (征) P.3-23)	テストメールの送信を実行しま		きす。	
リセット (紹子 P.3-2	24)				すべての設定項目を初期値に戻します。

*1. [DHCP]、[AutoIP]が両方オフの場合のみ設定可能
 *2. [ニンショウホウシキ]がオフでない場合のみ設定可能
 *3. [ニンショウホウシキ]がPOP before SMTP の場合のみ設定可能





終了するとき、(END/POWER)キーを数回押す

メディア検出の設定

メディア検出の設定では、以下の項目の設定をします。

検出方法	メディアをセットしたとき、メディアの幅を 自動的に検出する (AUTO) または手動でプリ ント (またはカット) 範囲を決定する (MANUAL) を設定します。
厚さ入力	メディア検出時にメディアの厚みを入力する か設定します。



ローカルで、(FUNC1) (MENU) → (▼) (2 □) → ENTER)キーを押す

マシン設定メニューが表示されます。

(FUNC3) (>>) を押す

- ▲ 💌 を押して " メディア検出 " を選び、 (ENTER)キーを押す
- (ENTER)キーを押す
- ・"検出方法"が選択されます。
- 🔺 💌 を押して、"AUTO/MANUAL" を 選び、(ENTER)キーを押す
- ▲ ▼ を押して "厚さ入力 "を選び、 (ENTER)キーを押す
- ▲ ▼ を押して、ON/OFF を選び、 (ENTER)キーを押す

5

(重要!・プリント時の画質向上のため、手順7では"ON" に設定することをお勧めします。

乾燥フィードの設定

プリント終了後、メディア後端まで均一に乾燥させるため のメディアフィード長さを設定します。



お使いのオプションヒーターユニット 1800 や外部ヒーターの位置に合わせ、プリント部の後端がヒーターを通過する位置までフィードするように設定してください。



マシン設定メニューが表示されます。



(FUNC3) (>>) を押す



▲ ▼ を押して " 乾燥フィード " を選び、 (ENTER) キーを押す





8

▲ ▼ を押してメディアのフィード長を 入力し、 ENTER キーを押す

- 6

 を押して"バックフィード"を選び、
 - ▲ ▼ を押して、"ON/OFF"を選び、 ENTER キーを押す
 - 終了するとき、(END/POWER)キーを数回押す

言語の設定

表示言語を変更します。

□ーカルで、(FUNC1) (MENU) → (2回)→
ENTER キーを押す
・マシン設定メニューが表示されます。



3

▲ ▼ を押して "LANGUAGE"を選び、 ENTER キーを押す



▲ ▼ を押して言語を選び、 ENTER キーを押す



終了するとき、(END/POWER)キーを数回押す

時刻の設定

お使いの国に合わせた時刻(時差)に設定することができます。





ネットワークの設定

ネットワークの設定は、ミマキ製品のネットワーク設定を 行うツール「Network Configurator」でも行うことができ ます。Network Configurator は、ミマキエンジニアリング ダウンロードページ (https://japan.mimaki.com// download) より "ドライバ/ユーティリティ" をチェック してダウンロードしてください。



マシン設定メニューが表示されます。

2

(FUNC3) (>>) を2回押す



4

🔺 💌 を押して " ネットワーク " を選び、 (ENTER)キーを押す

(ENTER)キーを押す • "IP アドレス確認"が選択されます。

- ・現在、本機で使用中のIPアドレスが表示されます。
- ・確認が終わったら [ENTER] キーを押してくださ い。



・ネットワークに接続後、IP アドレスが確定する まで時間がかかります。IP アドレス未確定の場 合、「0.0.0.0」と表示します。



を押し、ENTER)キーを押す

- ・ "MAC アドレス確認"が選択されます。
- ・現在、本機で使用中の MAC アドレスが表示され ます。
- ・確認が終わったら [ENTER] キーを押してくださ $(1)_{a}$



▼)を押し、(ENTER)キーを押す

"DHCP" が選択されます。



・設定値:ON/ OFF ・ONの場合、DHCPサーバーより与えられた IPア ドレスを使用します。

8

▼ を押し、(ENTER)キーを押す

• "AutoIP" が選択されます。



10

▲ ▼ を押して設定値を選び、 ENTER)キーを押す

・設定値: ON/ OFF ・オンの場合、AutoIP プロトコルにより使用する IP アドレスを決定します。ただし、DHCP が ON の 場合は DHCP を優先します。

▼ を押し、(ENTER)キーを押す

・ "IP アドレス " が選択されます。

```
11
```

 を押して設定値を選び、 (ENTER)キーを押す

- ・設定値: ON/ OFF
- ・DHCP、AutoIP が両方オフの場合、IP アドレスの 設定ができます。それ以外の場合、手順 14 へ進 みます。



(FUNC3)キーを押す

進みます。

- デフォルトゲートウェイ/DNS アドレス/サブネッ トマスクの設定項目が表示されます。 •DHCP、AutoIP が両方オフの場合、デフォルト ゲートウェイ /DNS アドレス / サブネットマスク の設定ができます。それ以外の場合、手順14へ
- 13

を数回押して設定項目を選択し、 (ENTER)キーを押す



▲ ● を押して設定値を選び、 ENTER)キーを押す



終了するとき、(END/POWER)キーを数回押す

甞

・ネットワークの設定を反映するには、一度電源を オフにし、再度電源をオンにしてください。

イベントメール機能の設定

プリントの開始 / 終了や、エラーによる中断などのイベン トが発生した際に、設定したメールアドレスにメールを送 信する機能を設定します。

イベントメールの設定は、ミマキ製品のネットワーク設定 を行うツール「Network Configurator」でも行うことがで きます。Network Configurator は、ミマキエンジニアリン グダウンロードページ (https://japan.mimaki.com// download) より "ドライバ / ユーティリティ" をチェック してダウンロードしてください。

免責事項

- メール通知その他、インターネットの通信が発生した場合 の通信費用は、お客様負担となります。
- •イベントメール機能による通知は、インターネット環境や 機器の故障、電源の故障などの要因により、不達となるこ とがありえます。不達や遅延があった場合などおいて発生 した損害について、弊社では責任を負いかねます。

・イベントメール機能は本機を LAN 接続すること (重要!) によって使用できます。あらかじめ LAN ケーブ ルの接続をしておいてください。 ・SSL 通信には対応していません。

イベントメール機能を有効にする



□ーカルで、(FUNC1) (MENU) → (▼) (2 □) → (ENTER)キーを押す

マシン設定メニューが表示されます。

第3章マシン設定



3-21





- (重要!・テストメールの送信結果は、本機がメールサーバーに対して行ったメール送信処理の結果です。 メールが宛先に届いたことを示すものではありません。
 - ・メールを受信する端末側で迷惑メールフィルタなどを設定している場合、「ソウシンカンリョウ」となってもメールが届かない場合があります。
 - ・テストメールの送信に失敗した場合、以下のエラーコードが表示されます。
 - ・エラーが解消されない場合、時間をおいてから試してみてください。
 - ・サーバーの設定等については、ネットワーク管理者またはプロバイダにご相談ください。

エラーコード	予想される原因	対処方法
10	ネットワーク接続エラー	 ・装置がネットワークに接続されていることを確認してください。 ・装置の IP アドレスが正しいことを確認してください。 ・装置が DNS を利用することのできる環境であることを確認してください。
20	有効なメールアドレスがありません	・正しいメールアドレスを入力してください。
11003 11004	POP サーバーが見つかりません または、DNS サーバーにアクセスできま せん	 POP サーバーのアドレスを確認してください。 装置が DNS を利用することのできる環境であることを 確認してください。
11021	POP サーバーに接続できません	・POP サーバー設定を確認してください。 ・ファイアーウォールの設定を確認してください。
12010	POP サーバーからエラーが返答されまし た	• POP サーバーの設定を確認してください。
13000	POP 認証に失敗しました	 ユーザー名とパスワードを確認してください。 APOPの設定を確認してください。 認証方式を確認してください。
10013 10014	SMTP サーバーが見つかりません または、DNS サーバーにアクセスできま せん。	 SMTP サーバーのアドレスを確認してください。 装置が DNS を利用することのできる環境であることを 確認してください。
10021	SMTP サーバーに接続できません	 SMTP サーバー設定を確認してください。 SMTP ポート番号を確認してください。 ファイアーウォールの設定を確認してください。
10*** 11*** 20*** 21***	SMTP サーバーからエラーが返答されま した または応答がありません	 SMTP サーバーの設定を確認してください。 SSL 通信が必須のサーバーとは通信できません。 プロトコルフィルターの設定を確認してください。
12***	無効な送信元メールアドレスです	 ユーザー名、パスワードに入力したアカウントに対応したメールアドレスが送信元メールアドレスに設定されているか、確認してください。
13***	メールの宛先が見つかりません または、無効なメールアドレスです	 ・メールアドレスを確認してください。 ・メールアドレスに間違いがあっても、本エラーが検出できない場合があります。 ・ユーザー名、パスワードに入力したアカウントに対応したメールアドレスが送信元メールアドレスに設定されているか、確認してください。
22000 22008	SMTP 認証エラー	 認証方式を確認してください。
23*** 24*** 25***	SMTP 認証に失敗しました	 ユーザー名とパスワードを確認してください。

"***" はメールサーバーから返答されたエラーコード

設定した内容を初期状態に戻す

「設定」「メンテナンス」「マシン設定」で設定した内容を、 お買い上げ時の状態に戻します。



ローカルで、(FUNC1) (MENU) ◆ ▼ (2回) ◆ (ENTER) キーを押す

マシン設定メニューが表示されます。



(FUNC1) (<<) を押す



▲ ▼ を押して "リセット "を選び、 ENTER キーを押す



5

ENTER キーを押す・設定を初期化します。


ノズルチェックメニューについて

ノズル抜け検出機能に関するオペレーションを設定します。



(FUNC1): 情報メニューを選ぶときに押す (FUNC3):次の画面に切り替えるときに押す ∧∨ : 設定項目を選択するときに押す (ENTER): 設定を確定するときなどに押す

◆ ノズルチェックメニュー一覧



ノズルチェックメニュー・ ·覧表

機能名称			設定値	初期値	概要
印刷中ノズルチェック (役予 P.3-27)			ON/OFF	OFF	オンライン印刷の開始時にノズルチェックしたい場合、設定 します。
(ON)	N) チェック 距離		$0.1{\sim}50.0m$	30.0m	設定した距離毎にノズルチェックを行います。
	間隔	ファイル	1~100ファイル	30 ファイル	設定したファイル数毎にノズルチェックを行います。*1
	復旧動作	クリーニング	ソフト / ノーマル / ハード	ソフト	復旧動作時に行うクリーニングの種類を設定します。
		リトライ回数	0~30	0 🗆	設定回数分、リトライ動作を繰り返します。
自動ノズルリカバリ (22 P.3-27)			ON/OFF	OFF	自動でノズルリカバリしたい場合に設定します。
判定条件 (紀 P.3-27)			1~200 ノズル	1 ノズル	色ごとに何本のノズル抜けを検出したら「ノズル抜け」と判 定するか設定します。(1 ノズル列最大16本)*2

*1. プリントの途中で設定した距離に達した場合は、次のブリント開始時にノズルチェックを行います。
 *2. プリント条件により、ノズルリカバリが適用されない場合があります。

印刷中ノズルチェックの流れ

プリント開始時に以下の流れでノズルチェックを行います。

(重要!)
・「印刷中ノズルチェック」の設定を "ON" にすると、有効になります。
・リトライ、自動ノズルリカバリの設定は、設定が有効な場合のみ行います。



「ノズル抜け」判定時ならびにエラー発生時の印刷動作



- → プリントを停止します。
- ノズルチェック実施中にエラーが発生した場合 → 印刷を停止し、自動的に「印刷中ノズルチェック」を "OFF" に設定します。エラーから復旧後は、再度「印刷中ノズル チェック」の設定を行ってください。

印刷中ノズルチェックの設定

オンライン印刷の開始時にノズルチェックしたい場合、 ONに設定します。



2

ローカルで、(FUNC1) (MENU) ◆ ▼ (3 回) ◆ ENTER キーを押す

ノズルチェックメニューが表示されます。

(ENTER)キーを押す

・"印刷中ノズルチェック"が選択されます。



4

▲ ▼ を押してONを選び、ENTER キー を押す

- "チェック間隔"の設定画面が表示されます。
 "OFF"を選ぶと、ノズルチェックは設定されません。手順11へ進んでください。
- (ENTER)キーを押す
- 5

 を押して設定項目を選び、
 - ・ノズルチェックの間隔を"距離"または"ファイル"から選びます。
 - 距離 : プリントした距離が設定した長さに達 すると、ノズルチェックを行う ファイル: プリントしたファイル数が設定した数 に達すると、ノズルチェックを行う



・手順5で選んだ設定項目により、設定値は異なります。
 距離 : 0.1 ~ 50.0m
 ファイル: 1 ~ 100 ファイル



8

(ENTER)キーを2回押す

- ・"復旧動作"の設定画面が表示されます。
- (ENTER) キーを押す
 ・ クリーニング種別 " が選択されます。



設定値: OFF/ソフト/ノーマル/ハード





10

終了するとき、(END/POWER)キーを数回押す

自動ノズルリカバリの設定

ノズル抜け判定された場合に自動でノズルリカバリした い場合に設定します。



□ーカルで、(FUNC1) (MENU) → ▼ (3 □)
 ◆ ENTER キーを押す

ノズルチェックメニューが表示されます。



を押し、ENTER キーを押す
 ・"自動ノズルリカバリ"が選択されます。



▲ ▼ を押して ON/OFF を選び、 ENTER キーを押す

4 終了するとき、(END/POWER) キーを数回押す

判定条件の設定

ノズル抜けの判定条件を設定します。



ノズルチェックメニューが表示されます。



を2回押し、ENTER キーを押す
 ・"判定条件"が選択されます。



挲

▲ ▼ を押して色を選び、 ENTER キーを押す

> インクセットにより、色の種類は変わり ます。



▲ ▼ を押して判定ノズル数を設定し、 ENTER キーを押す

5

終了するとき、(END/POWER)キーを数回押す

2

情報メニューについて

本機の装置情報を確認できます。 確認できる装置情報は、次の項目です。



- FUNC1: 情報メニューを選ぶときに押す
 (FUNC3): 次の画面に切り替えるときに押す
 (○) : 設定項目を選択するときに押す
- ENTER : 設定を確定するときなどに押す

◆情報メニュー一覧



情報メニュー一覧表

項目		内容
	ワイピング情報	ワイピングした回数が表示されます。
	廃インクタンク情報	廃インクタンクに溜まっている廃インクが何%になっているか、目安が表示されま す。
使用状況	プリント長情報	今までプリントした長さが表示されます。
	プリント面積情報	今までプリントした面積が表示されます。
	使用時間	今までの使用時間が表示されます。
	スパウトゴム	スパウトゴムの使用時間が表示されます。
バージョン		装置のバージョン情報が表示されます。
インク交換レポート		装置で使用したインクの履歴をプリントします。
エラー履歴		現在までに発生したエラー、ワーニング履歴が表示されます。 【▲】【▼】を押して、発生順に発生日時(年月日時分)とエラー、ワーニング情報を切り 替えて表示します。
リスト		装置の設定内容をプリントします。

情報を表示させる



ローカルで、(FUNC1) (MENU) → (4回) → ENTER キーを押す

・情報メニューが表示されます。



▲ ▼ を押して情報を選ぶ

•「情報メニューー覧表」を参照して、表示する情報を選びます。

3

(ENTER)キーを押す

・手順2で[リスト]を選んだ場合、装置の設定内容がプリントされます。



終了するとき、(END/POWER)キーを数回押す

・ワイパーの使用カウントをリセットしたい場合、ディスプレイに "クリアしますか?"を表示中に [FUNC2] キーを押しま 挲

す。[ENTER] キーを押すと、ワイピング回数をリセットします。 ・使用状況の"ワイピング情報"、"廃インクタンク情報"、"スパウトゴム"を表示中にファンクションキーを押すと、使 用カウントをリセットすることができます。

ワイピング情報をリセットする場合	:	[FUNC2] を押す
廃インクタンク情報をリセットする場合	:	[FUNC1] を押す
スパウトゴムをリセットする場合	:	[FUNC3] を押す

第4章 お手入れ

この章では…

日常行っていただくお手入れ方法やインクカートリッジのメンテナンスなど、本機を快適にお使いいただくために必要な項目を説明します。

4-2
4-2
4-2
4-2
4-2
4-3
4-3
4-4
4-5
4-6
4-6
4-7
4-9
4-10
4-12
4-13
4-14
. 4-14

	テストプリント時にノズルリカバリを有効	にす
	るか設定する	4-14
オ	ートメンテナンス機能	4-15
	リフレッシュ間隔を設定する	4-15
	チューブ洗浄間隔を設定する	4-15
	クリーニング間隔とタイプを設定する	4-15
	ノズル洗浄を中断する	4-16
1	ンク充垣	4-16
当	*	4-16
	ワイパーを交換する	4-16
	廃インクタンク確認メッセージが表示され	たら
	4-17	,
	座インクタンクを交換する	4-18
	カッター刃の交換	4-18
	フパウトゴムを交換する	/_10
	MBIS オフコククク吸収なたが過する	7-13 1-21
	このカインティングの状態で又接てる	4-7 I

日常のお手入れ

本機の精度を保ちながら末永くお使いいただけるよう、使 用頻度に応じて、または定期的にお手入れをしてください。

お手入れ上のご注意

本機のお手入れをするとき、次の各事項にご注意ください。

	 ・メンテナンス液を使用する場合は、必ず付属の保 護メガネを着用してください。
	 本機を、絶対に分解しないでください。感電および破損する原因になります。 また、お手入れは電源スイッチをオフにし、電源ケーブルを抜いてから行ってください。思わぬ事故が発生する原因となります。
	 本機の内部に水気が入らないようにしてください。 内部が濡れると、感電および破損する原因になります。
0	 本機はインクの吐出安定性を確保するために、長時間ご使用(出力)されないときには、定期的に微量のインクを吐出(フラッシング)させる必要があります。 長時間使用されないときには、前面の電源スイッチのみを OFF とし、右側面の主電源スイッチは ON(の状態)およびコンセントは挿入した状態にしておいてください。
\bigcirc	 ヘッドのノズル面やワイパー、キャップ等を水、 アルコールなどで拭かないでください。ノズル詰まりや故障の原因になります。 ベンジン、シンナーや研磨剤の入った薬品は使用しないでください。カバーの表面が変質・変形する恐れがあります。 本機の内部に潤滑油などを注油しないでください。故障する恐れがあります。 メンテナンス液やインクが、カバーに付着しないように注意してください。カバーの表面が変質、 変形します。

メンテナンス液について

メンテナンス液は、お使いになるインクに対応したものを お使いください。

インクの種類	対応するメンテナンス液
昇華転写インク:Sb410	03 メンテナンス液キット
昇華転写インク:Sb411	(ML003-2-K1) [別売]

外装のお手入れ

本体の外装が汚れた場合は、柔らかい布に水、または水で 薄めた中性洗剤を含ませ、堅くしぼってから拭き取ってく ださい。



プラテンの清掃

プラテン上は、メディアをカットしたときの糸や紙粉等で汚れやすくなります。

汚れが目立つときは、やわらかい毛のハケや乾いた布、 ペーパータオルなどで汚れを拭き取ります。





 インクが付着している場合は、メンテナンス液を ペーパータオルに含ませ、拭き取ります。

・プラテンの清掃は、プラテンの温度が十分下がった状態で行ってください。
 ・メディア押さえ用の溝や、用紙カット用の溝(カッターライン)などは特に汚れがたまりやすい場所です。入念な清掃をお願いします。

メディアセンサーの清掃

メディアセンサーは、背面側のプラテン上と、ヘッドの下面にあります。センサーにホコリ等がたまると、メディアの誤検出の原因となります。

綿棒でセンサーの表面にたまったホコリ等を取り除いて ください。

ヘッド下面のセンサーを清掃するときは、P.4-12「ヘッド 周辺の清掃」手順1の操作をして、キャリッジを左端に 移動させてから清掃してください。

装置背面







メディアセンサー



メディアセンサー付近にあるカッターには触らないでください。刃先が鋭利になっているため、怪我の原因となります。

メディア押さえの清掃

メディア押さえにカットくずやホコリ等がたまると、プリ ント時のメディアの搬送が正常に行えなくなったり、ホコ リ等がノズルに付着して正常なプリントができなくなる ことがあります。

メディア押さえは、定期的に清掃してください。



メンテナンスニューについて

本機のメンテナンスをするための各種設定です。 メンテナンス設定で設定できる内容は、次の項目です。



- FUNC1: マシン設定メニューを選ぶとき、または、1つ前の画面に 切り替えるときに押す
- (FUNC2):メンテナンス機能を使用するときに押す
- (FUNC3):次の画面に切り替えるときに押す
- (ENTER): 設定を確定するときなどに押す

◆メンテナンスメニュー一覧





メンテナンスメニュー一覧表

項	目		設定値	内容		
	キャリッジやステーション周辺のメンテナンスを行います。					
	キャリッジアウト (征子 P.4-6)			キャリッジを移動し、キャップ周辺やヘッド、ワイパー等の清掃を 行います。		
フテーション	ノズル洗浄 ((2) P.4-7)		$1\sim$ 99min	ノズル面をメンテナンス液で浸し、ノズル抜けや曲がり等の復旧を 行います。		
メンテ	ポンプチューブ洗浄 (〈役〉 P.4-9)			吸引ポンプチューブの洗浄を行います。		
	保管洗浄 (⁽² 2 P.4-10)	I	$1\sim$ 99min	本機を長期間使わないときに行います。あらかじめノズル洗浄と排 路洗浄を行い、本機を快適な状態に保ちます。		
	ワイパー交換 (従予 P.4-16)			ワイパーの交換をするときに使用します。ワイパー交換を行うと、 本機で管理されていたワイパー使用回数がリセットされます。		
	ノズル洗浄等をしてもノズル抜け等が復旧しない場合、他のノズルを使用してプリントします。					
	プリント			パターンをプリントし、ノズル詰まりを起こしているノズルを確認 します。		
ノズルリカバリ (CRP P4-13)	登録			" プリント " で確認した不良ノズルを登録します。		
(\(\(\(\)g\) 1.4-10)	リセット			登録した不良ノズルをリセットします。		
	チェック			登録された不良ノズルがリカバリ可能かチェックします。		
	テストプリント		ON/OFF	テストプリント時にノズルリカバリ機能の設定を行うか選びます。		
	各種メンテナンス機能を自動的に行います。各々のメンテナンス実行間隔を設定してください。					
オートメンテ	リフレッシュ		お使いのインク 種によって、設 定値が異なりま	リフレッシュ動作の間隔を設定します。		
ナンス	ポンプチューブ洗浄			排路洗浄の動作間隔を設定します。		
(Cg P.4-15)	クリーニン グ	間隔	す。	ヘッドクリーニングの動作間隔を設定します。		
		タイプ	ノーマル/ハード	ヘッドクリーニングをするときのクリーニングタイプを設定します。		
インク充填 (ご) P.4-16)	インクの充填動作を行い、ノズル詰まりを解消します。					
廃インクタンク 交換 (Car P.4-18)	廃インクタンクの使用カウントをリセットまたは補正します。					



キャッピングステーションにあるインクキャップやワイ パー等のメンテナンスをします。(ステーションメンテナンス)

(重要!・ノズル状態を正常に保つため、ワイパーの清掃は こまめに実施してください。

インクキャップやワイパーは、それぞれ次のような働きをしています。

・ワイパー : ヘッドのノズルに付着したインクを拭き取る
 ・インクキャップ : ヘッドのノズルが乾燥により、目詰まりするのを防止する

本機を使用していると、インクやホコリ等でワイパーやキャップが汚れてきます。

ヘッドクリーニングを実行(CPP P.2-17)しても、ノズル抜けが解消されない場合は、03メンテナンス液キットとクリーンスティックを使用して清掃を行います。

メンテナンス	に必要な道具
・03 メンテナンス液キット(品	3番 :ML003-Z-K1)
・クリーンスティック(品番::	SPC-0527)
• 手袋	• 保護メガネ



 キャッピングステーションのメンテナンスを行う ときは、必ず付属の保護メガネと手袋を着用して ください。インクが目に入る場合があります。
 キャリッジを手でキャッピングステーションから 出さないでください。キャリッジを移動させたい ときは、[FUNC1] キーを押し、キャリッジアウト を実行してください。(公子 P.4-6 手順1~2)

ワイパーとキャップの清掃

画質や本機の状態を良好に保つため、こまめに清掃される ことをお勧めします。

 ・ワイパーの汚れ、曲がりがひどい場合は、新しい ワイパーと交換してください。(公子 P.4-16)
 ・清掃の際は、クリーンスティックの繊維が残らな いように注意してください。繊維が残っている と、プリント不良の原因になります。



2

ローカルで、(FUNC1) (MENU) → ▼ → (ENTER) キーを押す

メンテナンスメニューが表示されます。

ENTER) キーを2回押す
 ・キャリッジがプラテン上に移動します。



キャリッジ

7/6







ンス液の量を確認する Ś メンテナンス液がキャップいっぱいになっていな い場合は、スポイトを使ってメンテナンス液を キャップからあふれる寸前まで満たしてくださ い。 2 1 フロントカバーを閉め、(ENTER)キーを押す (▲)(▼)を押してメンテナンス液の放置時 間を設定し、(ENTER)キーを押す • 設定值: 1~99分(1分単位) キャップに満たしたメンテナンス液を吸引しま ・設定した時間が経過するまで、ディスプレイには "しばらくお待ちください"が表示されます。 (重要!) ・ノズルリカバリ (注) P.4-13) やこの洗浄を何回か 実行してもノズル抜けが解消されない場合は、販

インク排出路の洗浄

インク排出路内でのインクの凝固によるインク詰まりを 防止するため、定期的に(1週間に1回程度)インク排出 路の洗浄をしてください。



□ーカルで、(FUNC1) (MENU) ◆ ▼ ◆ (ENTER) キーを押す

メンテナンスメニューが表示されます。



1

(ENTER)キーを押す

・" ステーションメンテ " が選択されます。





▲ ▼ を押して洗浄するヘッドを選び、 ENTER キーを押す



掌

メンテナンス液が、キャップー杯に満たされ る

- 洗浄液カートリッジが有効の場合、自動的にメン テナンス液をキャップに満たします。
- (重要!) ・フロントカバーが閉まっていないと、自動的にメ ンテナンス液が満たされません。フロントカバー が開いている場合は、必ず閉めてください。
 - 洗浄液カートリッジが有効でない場合は、自動的 にメンテンナンス液がキャップに満たされません。

フロントカバーを開け、スポイトを使ってメンテナンス液をキャップからあふれる寸前まで満たしてください。

メンテナンス液を満たしたら、手順7からの操作 をしてください。



6 終了メッセージが表示されたら、フロントカバーを開け、キャップに満たされているメンテナンス液の量を確認する



(重要!) ・メンテナンス液がキャップいっぱいになっていない場合は、スポイトを使ってメンテナンス液を キャップからあふれる寸前まで満たしてください。



フロントカバーを閉め、(ENTER)キーを押す

1

長期間使用しない場合

1 週間以上使用しない場合は、保管洗浄機能を使用し、 ヘッドのノズルとインクの排路をクリーニングしてくだ さい。その後、本機を保管してください。

- (重要!)
 ・主電源は、常時「オン」でお使い下さい。ヘッドのノズル保護のため、ノズル詰まりを防ぐ機能が自動的に働きます。
 ・主電源スイッチを「オフ」のまま長時間放置する
 - ・王電源スイッチを「オフ」のよる長時間版置すると、ヘッドのノズル詰まりの原因となります。

事前に確認してください

- [ニアエンド]、[インクエンド]は表示していませんか? ・洗浄動作の際に、メンテナンス液やインクの吸引を行い ます。
 - このとき、インクエンドまたはニアエンドを検出していると、洗浄動作が行えなくなります。
 - インクエンド等、未検出のインク IC チップに交換してく ださい。
- ・ワーニングメッセージ " 廃インクタンク確認 " が 表示された場合、廃インクタンクを確認し、状況 に応じて P.4-17「廃インクタンク確認メッセージ が表示されたら」を参照して操作をしてくださ い。



ローカルで、(FUNC1) (MENU) ◆ ▼ ◆ (ENTER) キーを押す

メンテナンスメニューが表示されます。



ENTER キーを押す
・" ステーションメンテ " が選択されます。

3 ● ▼ を押して "保管洗浄"を選び、 ENTER キーを押す

キャリッジがプラテン上に移動します。



5

ディスプレイに"ワイパークリーニング"の表示が出たら、フロントカバーを開ける

ワイパーとブラケットを清掃する

(1) フロントカバーを開け、ワイパー両端の突起を持って引き抜く

(2) クリーンスティックにメンテナンス液を含ませて清掃する メンテナンス液は、残らないように拭き取ってください。 (3) ワイパー両端の突起を持ち、元の位置に差し込む





ヘッド周辺の清掃

ヘッドそのものは非常に微細なメカニズムを採用してお りますので、お手入れの際には十分な注意が必要です。 スライダ下部、ヘッド周辺にゲル状になったインクや、ホ コリが付着することがありますので、クリーンスティック などでこすり落としてください。その際、ヘッドのノズル 部分は絶対にこすらないようにしてください。

清掃に必要な道具			
・クリーンスティック	• 手袋		
・保護メガネ			

注意

 清掃を行うときは、必ず付属の保護メガネと手袋 を着用してください。インクが目に入る場合があ ります。

インクは有機溶剤を使用しています。皮膚や目に入った場合は、直ちに水で十分に洗い流してください。



メンテナンスメニューが表示されます。



(ENTER)キーを2回押す

・" キャリッジアウト " が選択されます。



キャリッジが本機の左側に移動します。







クリーンスティックまたはウェスで清掃します。



清掃が終了したら、(ENTER)キーを押す



•初期動作後、ローカルに戻ります。





オートメンテナンス機能

本機を快適にお使いになるため、自動的に各種メンテナン スを行うように設定できます。

ここでは、各種自動メンテナンスの実行間隔を設定しま す。

定期的に自動メンテナンスを行うことにより、インク詰ま りなどのトラブルを防止することができます。

(オートメンテナンス機能)

オートメンテナンス機能には、以下の項目があります。

- (重要!)・手動で各種メンテナンスを行った場合、手動メン テナンス終了後、オートメンテナンス機能で設定 した時間が経過したら自動的に各種メンテナンス を開始します。
 - オートメンテナンス機能をお使いになるときは、 必ずメンテナンス液がセットされていることを確 認してください。メンテナンス液がセットされて いないと、チューブ洗浄の動作を定期的に行わ ず、経路が詰まる恐れがあります。

機能名	説明
リフレッシュ	リフレッシュを実行するまでの間隔を設定し ます。
ポンプチューブ 洗浄	排路洗浄の動作間隔を設定します。
クリーニング (間隔)	クリーニングを実行するまでの間隔を設定し ます。
クリーニング (タイプ)	クリーニングタイプを設定します。
ノズル洗浄	動作の設定を変更することはできません。

- (重要!) ・ワーニングメッセージ "! 廃インクタンク" が表示 されている場合、オートメンテナンス機能で設定 した動作は実行されません。必要に応じて P.4-18 の操作をしてください。
 - ・装置前面の電源スイッチをオフにする場合は、廃 インクタンクの確認をしてください。

リフレッシュ間隔を設定する

ノズル詰まり防止のため、ノズルから若干のインクを吐出 する間隔を設定します。



 ・設定値:お使いのインク種によって、設定値が異 なります。

終了するとき、(END/POWER)キーを数回押す

5

チューブ洗浄間隔を設定する

インク排出路内でのインクの凝固によるインク詰まりを 防止するため、インク排出路の洗浄を行う間隔を設定しま す。





メンテナンスメニューが表示されます。



1

▲ ▼ を押して"オートメンテナンス"を 選び、ENTER キーを押す



を押し、ENTER キーを押す
 ・" ポンプチューブ洗浄 " が選択されます。



▲ < <>>● を押してチューブ洗浄をする間隔 を設定し、 ENTER キーを押す

・設定値:お使いのインク種によって、設定値が異なります。



終了するとき、(END/POWER)キーを数回押す

クリーニング間隔とタイプを設定する

クリーニングタイプと、クリーニングを実行するまでの間 隔を設定します。

ローカルで、(FUNC1) (MENU) ◆ ▼ ◆ (ENTER) キーを押す

メンテナンスメニューが表示されます。



▲ ▼ を押して"オートメンテナンス"を 選び、ENTER キーを押す



- 4

 を押して設定値を選び、
 - ・設定値:お使いのインク種によって、設定値が異なります。
 ・タイプの設定値:ノーマル/ハード

5 終了するとき、(END/POWER) キーを数回押す

ノズル洗浄を中断する

ノズル洗浄中にプリントなどの作業をしたいときに、ノズ ル洗浄を中断することができます。



 ノズル洗浄を中断した場合は、設定済みの洗浄時 間を待たずにヘッドクリーニングを実行します。



ノズル洗浄実施中に、(END/POWER) キーを 押す

ノズル洗浄中止の選択画面が表示されます。



2

挲

を押して "中止"を選ぶ

- ・ノズル洗浄を中止し、ヘッドクリーニング(ノー マル)を始めます。
- ヘッドクリーニングが終了しローカルに戻った ら、プリントなどの作業を行ってください。
- そのままノズル洗浄を継続したい場合は、 [◀](継続)を選んでください。

インク充填

インクの充填動作を行い、ノズル詰まりを解消します。

□ーカルで、(FUNC1) (MENU) → ▼ →



メンテナンスメニューが表示されます。



(▲)(▼)を押して"インク充填"を選び、 (ENTER)キーを押す



▲) ▼)を押して充填するヘッドを選び、 (ENTER)キーを押す



5

(ENTER) キーを押す 自動的にインク充填を開始します。



(ENTER)キーを押す

終了するとき、(END/POWER) キーを数回押す



部品の汚れがひどい場合や、破損、変形した場合は、サプ ライ品をご利用ください。

消耗品は、販売店、またはお近くの弊社営業所にてお買い 求めください。

消耗品は、弊社ウェブサイトにてご覧になれます。 https://japan.mimaki.com/supply/inkjet.html

ワイパーを交換する

ワイパーは消耗品です。ディスプレイにワーニングメッ セージ " ワイパー交換 " が表示されたら、速やかにワイ パーを確認・交換してください。 また、スライダー下面に付着したインクの清掃をしてくだ

さい。

・ワイパー交換のワーニングが表示された場合、ワ (重要!) イパーフィルム先端部にキズや毛羽立ち等がない か確認してください。ワイパーフィルム先端部に キズや毛羽立ちがない場合は、そのままお使いに なれます。

- ・クリーニングワイパーは別売品です。お近くの販 売店、または弊社営業所でお求めください。
- □ーカルで、(FUNC1) (MENU) → ▼ → (ENTER)キーを押す

メンテナンスメニューが表示されます。



・" ステーションメンテ"が選択されます。



▲) (▼)を押して " ワイパー交換 "を選び、 (ENTER)キーを押す



廃インクタンクを交換する 廃インクタンクを交換する 7 廃インクタンクがいっぱいになった場合は、次の作業をし て廃インクタンクを交換し、メンテナンスメニューで廃イ ンク情報を0%に設定してください。 廃インクタンク確認メッセージが表示される前(2Lタンク の80%(1.6L)に達する前)に廃インクタンクを交換する場 合も、同様の作業をして廃インクタンクを交換してくださ い。 ローカルで、(FUNC1) (MENU) → (▼) → 1 (ENTER)キーを押す メンテナンスメニューが表示されます。 ▲ (▼)を押して"廃インクタンク交換"を 2 選び、(ENTER)キーを押す ・廃インクタンク情報を表示させる 甞 ▲ (▼)を押してレベルを調整し、 3 ENTER)キーを押す 8 ENTER)キーを押す 4 本機で管理している廃インクタンク量がリセット されます。 廃インクタンクストッパーを手前に引く 5 9 廃インクタンク ストッパー 廃インクタンクの取っ手を持ち、手前に引い 6 て取り出す 注意 廃インク タンク 日本 Т ・取り出した廃インクタ キャップ ンクにキャップをはめ てください。



- カッター刃は、子供の手の届かないところに保管 してください。また、使用済みのカッター刃は、 地域の条例に従い廃棄してください。
- カッター刃の下に用紙を敷いておくと、刃先が落 ちた時に拾いやすくなります。



メンテナンスメニューが表示されます。



スパウトゴムを交換する

エコケースには、2Lインクパックからのインク漏れ低減 のために、スパウトゴムが実装されています。 スパウトゴムはサプライ品です。(品番:SPA-0317) 交換時期(半年)をワーニングでお知らせします。 ワーニ ングが表示されたら、スパウトゴムを交換してくだ さい。



・2Lインクパックを交換するときは、必ず付属の 保護メガネと手袋を着用してください。誤って、 インクが目に入る可能性があります。



・スパウトゴムは、8セットすべて同時に交換して ください。

使用環境や使用条件により、スパウトゴムが半年 以内に劣化する場合があります。写真のように中 央のすき間が広がった場合、ワーニングメッセー ジにかかわらず交換してください。



初期



使用可能





MBIS オスコネクタ吸収材を交換する

2L インクパック交換時、定期的 (5 ~ 10 回) にオスコネ クタ吸収材 (付属品) を交換することで、台座内の汚れを 防止することができます。



Ÿ

・オスコネクタ吸収材交換時は、必ず付属の保護 メガネと手袋を着用してください。

 ・付属品が終了したら、お近くの販売店、または 弊社営業所でお求めください。
 品番: SPA-0625



台座についているレバーを押し下げ、2L エコ ケースを取り外す。





オスコネクタ吸収材を取り外す。





新しいオスコネクタ吸収材を取り付ける。



4

2L エコケースを取り付ける。



4-21

第5章 困ったときは



この章では…

故障かな?と思ったときの対処方法や、ディスプレイに表示するエラー番号の解消方法 などを説明をしています。

故障かな?と思う前に	5-2
電源が入らない	5-2
プリントできない	5-2
メディア詰まり / メディアが汚れる	5-2
ヒーターの温度が設定値まで上昇しない	5-3
画質不良が発生したときは	5-3
ノズル詰まりを解消したいとき	5-3
インク IC チップ異常が発生したら	5-3
インク漏れが発生したら	5-4
メッセージを表示するトラブル	5-5
ワーニングメッセージ	5-5
エラーメッセージ	5-8

故障かな?と思う前に

故障?と思う前にもうー度確認してください。

対処しても正常に戻らない場合は、

販売店または弊社営業所にご連絡ください。

電源が入らない

電源が入らない場合の原因の多くは、電源やコンピュータのケーブル接続ミスによるものです。 接続が適正かもう一度確認してください。



プリントできない

プリントができない場合は、データが適正に本機に送られていない場合があります。 また、プリント機能に不良がある場合や、メディアのセット方法に問題がある場合などが考えられます。



メディア詰まり / メディアが汚れる

メディア詰まりやメディアの汚れは、ご使用のメディアやセット方法に問題があるなどが考えられます。



ヒーターの温度が設定値まで上昇しない

基本操作を確認してください。



画質不良が発生したときは

ここでは、プリント品質に問題があるときの対処方法を説明します。症状に従って対処してください。対処しても改善し ない場合は、販売店または弊社営業所にご連絡ください。

現象	対処方法
白スジ / カスレ / 色の濃いスジが 発生する (ヘッド移動方向)	 (1) ヘッドクリーニングを行ってください。(公子 P.2-17) (2) ステーション内部のメンテナンスをしてください。(公子 P.4-6) (3)「フィード補正」機能を実行してください。(公子 P.3-5) (4) メディア押さえの上などヘッドが通過する部分に、紙片などのゴミが付着している場合は、ゴミを取り除いてください。
文字が用紙送り方向に2重、3重にプレる	(1)「フィード補正」機能を実行してください。(公P P.3-5)
往復印字でズレが発生する	(1)「ドット位置補正」機能を実行してください。(公PP-B.3-6)
プリント中にインク滴が落ちる	 (1) ワイパーを清掃してください。(公) P.4-6) (2) インクキャップのクリーニングをしてください。(公) P.4-6) (3) ヘッドの周辺を清掃してください。(公) P.4-12) (4) ヘッドクリーニングの [ノーマル]を実行してください。(公) P.2-17) (5) 定期ワイピングを、設定してください。(公) P.3-11)

ノズル詰まりを解消したいとき

P.2-17の操作でヘッドのクリーニングをしてもノズル詰まりが解消しない場合は、次の2つの項目を確認してください。

● P.4-7の操作をして、ヘッドノズルの洗浄をしてください。
 ● P.4-12の操作をして、ヘッドノズル面の洗浄をしてください。
 ● P.4-13の操作をして、ノズルリカバリをしてください。

インク IC チップ異常が発生したら

インクICチップに異常が発生したら、カートリッジLED「赤」が点灯し、ワーニングメッセージが表示されます。 プリント、クリーニング等、インク吐出に関する動作は全てできなくなります。 速やかに新しいインクパックに交換してください。

(重要!・カートリッジ異常を表示したまま長時間放置しないでください。ノズル詰まりの防止機能が動作しなくなります。 ノズルが詰まった場合、サービスマンによる修理が必要になります。

インク IC チップ異常の詳細を表示する

次の操作をして、IC 異常の内容を確認できます。



ローカルモードで、(ENTER)キーを押す



(ENTER)キーを押す

インク漏れが発生したら

インク漏れが発生した場合は、主電源スイッチをオフにして電源プラグを抜いてから、販売店または弊社営業所、コール センターにお問い合わせください。

メッセージを表示するトラブル

何らかの異常が発生すると、ブザーが鳴りディスプレイにメッセージが表示されます。 メッセージの内容によって対処してください。

ワーニングメッセージ

操作を実行したときに表示されるエラー

表示	原因	対処方法
実行できません :メディア未検出	メディア未検出のため、機能が実行でき ない。	・メディア検出後実行してください。
実行できません :MOTOR POWER OFF	カバーオープン後などモーターが OFF している。	 ローカルに戻り、初期化動作が完了してから 機能を実行してください。
実行できません : インクエラーあり	インクエラーが発生している。	 新しいインクパックに交換後、機能を実行してください。
実行できません カバーオープン	カバーが開いている。	 カバーを閉めてから、機能を実行してください。
実行できません プリントデータあり	データを受信している。	・データクリアを実行後、機能を実行してください。 (公2 P.2-19)

ローカルで表示されるメッセージ

表示	原因	対処方法
プリント不可 / カートリッジ	複数のインクエラー(使用不可インク) が発生し、インクの供給(プリントやク リーニングなど)が行えない。	・新しいインクパックに交換してください。
廃インクタンク確認	廃インクタンクのカウントが規定量を超 えた。	 ・廃インクタンクの排液量を確認してください。 ・メンテナンス・廃インクタンク交換を実行し、廃液量をリセットしてください。
ワイパー交換	ワイパー使用カウントが規定量を超え た。	 ・メンテナンス・ステーションメンテ・ワイ パー交換を実行し、ワイパーを交換してくだ さい。
ヒーター温度異常 電源を OFF しました	「ERROR 710 ヒーターオンドイジョウ」 発生後、強制的に電源 OFF し、再起動 した場合、表示します。	・再度 ERROR 710 が発生した場合は、販売店 または弊社営業所、コールセンターへ問い合 わせください。
メディアがありません	メディアがセットされてない。もしくは センサー故障。	 メディアをセットしてください。 セットしても表示する場合は、販売店または 弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。
プリントデータあり	ローカルでプリントデータを受信した。	 リモートに移行し、プリントを実行します。 またはデータクリアを実行し、印刷を中止します。

表示	原因	対処方法
【装置温度 / 高 ** ℃	設置環境(装置)の温度が高く、安定し たプリントが行えない。	・仕様 (20 ℃~ 35 ℃) の範囲内に室温を調節
装置温度 / 低 ** ℃	設置環境(装置)の温度が低く、安定し たプリントが行えない。	してください。
(洗浄カートリッジ無し	メンテナンス液カートリッジがセットさ れていない。 ワイパー洗浄やポンプチューブ洗浄が実 行できない。(オートメンテナンス動作)	 ・メンテナンス液カートリッジをセットして ください。
洗浄液エンド	メンテナンス液の残量がない。 ワイパー洗浄やポンプチューブ洗浄が実 行できない。(オートメンテナンス動作)	 ・新しいメンテナンス液カートリッジに交換 してください。
NCU センサー感度低下	NCU のセンサー感度が低下してきてい る。	
NCU カンドチョウセイエラーH	- センサーの感度を調整できない。	 NCU の交換をお勧めします。 販売店または弊社営業所、コールセンターに お問い合わせください。
ノズル抜け検出 印刷停止しました	ノズルチェックでノズル抜けと判定され たため、プリントを停止した。	 ヘッドクリーニング(22 P.2-17)ならびにノ ズル詰まりの対処 (22 P.5-3) を行ってくだ さい。
NCU トシュツイチケンシュツエラー ノズルチェック OFF		・「ERROR 655 / NCU トシュツイチケンシュツエラー」の説 明に従って対処を行ってください。
NCU センターイチケンシュツエラー ノズルチェック OFF	ノズルチェック実行中に NCU 関連のエ ラーが発生したため、印刷を停止してノ ズルチェック機能を OFF にした。	・「ERROR 654 / NCU センターイチケンシュツエラー」の説 明に従って対処を行ってください。
NCU SN チョウセイエラ- ノズルチェック OFF		 「ERROR 656 / NCU SN チョウセイエラー」の説明に 従って対処を行ってください。
NCU ケンシュツエラ- (HW) ノズルチェック OFF		・「ERROR 652 / NCU ケンシュツエラ- (HW)」の説明 に従って対処を行ってください。
NCU ケンシュツエラ-(マ-ク) ノズルチェック OFF		・「ERROR 653 / NCU ケンシュツエラー (マーク)」の説明 に従って対処を行ってください。
NCU 接続異常	NCU のユニットが接続されていない。 ノズルチェック機能が使用できない。	 一度、主電源をオフにして、しばらくたって から再度オンにしてください。 再度表示する場合は、販売店または弊社営業 所、コールセンターにお問い合わせください。
NCU 交換	NCUのセンサー感度が低く、正常にノズ ル抜けを判定できない。 ノズルチェック機能が使用できない。	 NCUの交換が必要です。 販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。
NCU インク吸収材交換	NCU のインク吸収材が満杯になった。	 NCUのインク吸収材交換が必要です。 販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。
NCU エラー ノズルチェック OFF	ノズルチェック実行中に NCU 関連のエ ラーが発生したため、プリントを停止し てノズルチェック機能を OFF にした	 販売店または弊社営業所、コールセンターに お問い合わせください。
ヘッド高さ 調整	マシンに保存されているヘッド高さ設定 値と現在のヘッド高さに違いがある。	 ヘッド高さの設定を行ってください。 (位) P.2-4)

インクエラー

インクエラーは、ローカルガイダンスでも表示されます。((2) P.3-29)

表示	原因	対処方法
インクに異常	インクパックのインクICチップが正常に 読み込めない。	・ワーニングが発生しているインク IC チップ を再挿入してください。 ワーニングが解消しない場合は、販売店また は弊社営業所、コールセンターにお問い合わ せください。
インク種類	インクパックのインク種類が充填してあるインクと異なる。	 ワーニングが発生しているカートリッジの インク種類を確認してください。
インク カラー	インクパックのインクカラーが充填して あるインクと異なる。	 ワーニングが発生しているカートリッジの インクカラーを確認してください。
カートリッジ異常	インクパックの IC チップの情報に異常 が生じた。 使用量が規定値を超えている。	 ワーニングが発生しているカートリッジを 交換してください。 ノズルづまりがないことを確認してください。(特にホワイトインク)
カートリッジ無し	インクICチップがスロットに挿入されて いない。	 ワーニングが発生しているスロットにイン クIC チップを挿入してください。 インクIC チップが正しく挿入されているか 確認してください。 一度、主電源をオフにして、しばらくたって から再度オンにしてください。 再度表示する場合は、販売店または弊社営業 所、コールセンターにお問い合わせください。
インクエンド	インクパックのインクがなくなった。	 ワーニングが発生しているインクパックを 交換してください。
インクニアエンド	インクパックのインクが残りわずかに なっている。	・間もなくインクがなくなります。 ご注意ください。
インク 期限切れ	インクパックの使用有効期限が切れている。	 ・消費期限を過ぎました。 ただし、翌々月まで使用することができます。
(期限切れ(1ヶ月)	インクパックの有効期限切れになった。(期限切れから 1ヶ月経過)	 ・消費期限より1か月以上過ぎています。 ただし、翌月まで使用することができます。
期限切れ(2ヶ月)	インクパックの使用有効期限が切れてい る (期限切れから 2ヶ月経過)。	 ・消費期限より2か月以上過ぎています。 ワーニングが発生しているインクパックを 交換してください。
ERROR 63c インク ザンリョウ セ [°] ロ	カートリッジ残量が0になった。	・新しいインクに交換してください。

エラーメッセージ

エラーメッセージを表示する場合は、下の表に従って、エラーを取り除いてください。 それでもメッセージを表示する場合は、販売店または弊社営業所にご連絡ください。

表示	原因	対処方法				
ERROR 108 HD THERMIS[1234]	ヘッド温度制御に異常が発生した。					
ERROR 108 HD CONNECT[1234]	ヘッドの接続に異常が発生した。	・一度、主電源をオフにして、しばらくたって				
ERROR 122 CHECK:SDRAM	SDRAM に異常が発生した。	から再度オンにしてください。 再度表示する場合は、販売店または弊社営業 所、コールセンターにお問い合わせくださ				
ERROR 128 HDC FIFO OVER		6 No				
ERROR 128 HDC FIFO UNDER	イット前脚塗似に共市が先生した。					
ERROR 129 バッテリ コウカン	内部時計の電池切れを検出した。	 ・販売店または弊社営業所、コールセンターに お問い合わせください。 				
ERROR 12a HDC SPEED						
ERROR 130 HD DATA SEQ	中子している波形の共吊を快山した。					
ERROR 146 E-LOG SEQ	イベントログのシーケンシャルナンバー 異常が発生した。					
ERROR 151 Main PCB V1R2	メイン基板の電源系統に異常が発生し た。	 一度、主電源をオフにして、しばらくたって から再度オンにしてください。 再度表示する場合は、販売店または弊社営業 所、コールセンターにお問い合わせください。 				
ERROR 152 Main PCB V2R5						
ERROR 153 Main PCB V3R3						
ERROR 154 Main PCB V05						
ERROR 157 Main PCB VTT						
ERROR 16e Main PCB V3R3B						
ERROR 15f HEAD DRIVE HOT						
ERROR 171 NEW HEAD CONNECT						
ERROR 18a Main PCB V_CORE	メイン基板の電源に異常が発生した。					
ERROR 18c Main PCB V12						
表示	原因	対処方法				
---------------------------------	-----------------------------------	---	--	--	--	--
ERROR 18e FLS NOT COMP	印字している波形の異常を検出した。					
ERROR 18f OFFSET START						
ERROR 18f OFFSET END	印字している波形の異常を検出した。					
ERROR 1d9 Main PCB V48-1	メイン基板の電源に異常が発生した。					
ERROR 1ce SLIDER PCB V24						
ERROR 1cf SLIDER PCB V1R8	-					
ERROR 1de SLIDER PCB V1R2		・一度、主電源をオフにして、しばらくたって				
ERROR 1df SLIDER PCB V2R5	スライダ P 基板の電源に異常が発生した。	から再度オンにしてください。 再度表示する場合は、販売店または弊社営業 所、コールセンターにお問い合わせくださ				
ERROR 1e0 SLIDER PCB V3R3		6 No				
ERROR 1e1 SLIDER PCB V5						
ERROR 1e2 SLIDER PCB V48						
ERROR 1db Station4 PCB V48						
ERROR 1dc Station4 PCB V24	ステーションIV基板の電源に異常が発生 した。					
ERROR 1dd Station4 PCB V24-A						
ERROR 1e6 PRAM サイズフソク	メモリーサイズが不足している。					
	プリントデータ以外のデータを受信し					
ERROR 201 コマンド エラー	た。 または送信したプリントデータに異常が 発生した。	 ・インターフェイスケーブルを確実に接続してください。 規格に適合したインターフェイスケーブル 				
ERROR 202 パラメータ エラー	送信したプリントデータに異常が発生した。	を使用してください。				
ERROR 206 プリント モード エラー	プリント不可能な条件のプリントデータ を受信した。	 RIPソフトのプリントデータ出力条件を確認 してください。 プロファイルを確認してください。 再度表示する場合は、販売店または弊社営業 所、コールセンターにお問い合わせください。 				

表示	原因	対処方法				
ERROR 304 USB INIT ERR	USB の通信に異常が発生した。					
ERROR 305 USB TIME OUT		・一度、主電源をオフにして、しばらくたって				
ERROR 307 MCFD ファイル IF エラー	印刷条件データへのアクセス中に異常が 発生した。					
ERROR 401 モータ - アラーム X	X モーターに過大な負荷がかかった。	から再度オンにしてください。 再度表示する場合は、販売店または弊社営業 所、コールセンターにお問い合わせくださ				
ERROR 402 モータ・アラーム Y	Yモーターに過大な負荷がかかった。	ί λ ο				
ERROR 403 X オーバー カレント	X モーターの過電流エラーを検出した。					
ERROR 404 Y オーバー カレント	Yモーターの過電流エラーを検出した。					
ERROR 423 マキトリ テンションバー	 巻取テンションバーのエラー。 ・テンションバー原点が見つけられなかった。 ・テンションバー角度変化が見られなかった。 	 ・メディアのセット状態を確認してください。 ・マニュアルSWでメディアを巻取れることを 				
ERROR 425 マキトリ イジョウ	巻取テンションバーに異常が発生した。・テンションバーが最下点制御位置を一定時間外れた	確認してください。また、テンションバーが 上がることを確認してください。 上がらない場合は、カウンターウェイトを調				
ERROR 429 マキトリ LIMIT ケンシュツ	巻取テンションバーの LIMIT 位置を検出 した。 ・テンションバーが最上点制御位置を一 定時間外れた。	差UCN/CCVI。(/2g F.2-11,F.2-0)				
ERROR 44f マキトリ ロール センサ イジョウ	巻軸センサ異常 ・巻軸センサを正しく読めない	 マシン設定の巻取ユニットと巻取テンションバーの設定が"ON"になっていることを確認してください。(公室 P.3-16) メディアのセット状態を確認してください。 マニュアルSWで巻取装置が動作することを確認してください。 				
ERROR 505 メディア ジャム	メディア詰まりが発生した。	 ・メディアを取り除き、再セットしてください。 				
ERROR 509 HDC POSCNT	位置制御に異常が発生した。	・一度、主電源をオフにして、しばらくたって				
ERROR 50a Y ゲンテン ケンシュツ	Y 原点検出ができなかった。	から再度オンにしてください。 再度表示する場合は、販売店または弊社営業 所、コールセンターにお問い合わせくださ				
ERROR 50f L-SCALE BLACK	リニアスケール異常が発生した。	ίλ <u>.</u>				
ERROR 50c メディアハバセンサー カクニン	メディア幅を正しく読むことができな かった。	 ・メディアのセット位置を確認してください。 (位) P.2-4) ・メディアセンサーの清掃を行ってください。 (位) P.4-3) ・一度、主電源をオフにして、しばらくたって から再度オンにしてください。 				
ERROR 516 メディアイチ ミギ スギマス	メディアが範囲外にセットされている。	 ・メディアのセット位置を確認してください。 (役) P.2-4) 				

表示	原因	対処方法				
ERROR 528 ポンプモーター センサ	ポンプセンサ検出エラー	 一度、主電源をオフにして、しばらくたって から再度オンにしてください。 再度表示する場合は、販売店または弊社営業 所、コールセンターにお問い合わせください。 				
ERROR 52f キャリッジ 原点 未設定	キャリッジの制御原点位置設定が行われ ていない。	・販売店または弊社営業所、コールセンターに				
ERROR 530 ステーション 原点 未設定	ステーションの制御原点位置設定が行われていない。	お問い合わせください。				
ERROR 536 ステーションロック	ステーションの動作異常を検出した。	 ・一度、主電源をオフにして、しばらくたって から再度オンにしてください。 再度表示する場合は 販売店または弊社営業 				
ERROR 537 洗浄液シャッター	メンテナンス液シャッターの動作異常を 検出した。	所、コールセンターにお問い合わせください。				
ERROR 602 カートリッジ エンド	インクエンド(使用不可、4 色セットで クリーニング時のみ使用可)	・新しいインクに交換してください。				
ERROR 608 インクIC イジョウ	インクパックの IC チップが正常に読め ない。	 インク IC チップが正しく挿入されているか 確認してください。 インクICチップを挿入しなおしてください。 一度、主電源をオフにして、しばらくたって から再度オンにしてください。 再度表示する場合は、販売店または弊社営業 所、コールセンターにお問い合わせください。 				
ERROR 627 カートリッジ セット	ー定時間以上インクICチップが挿入され ていないスロットがある。	・インク IC チップをセットしてください。				
ERROR 628 カートリッジ イジョウ	インクパックの IC チップの情報に異常 が生じた。 使用量が規定値を超えている。	 ノズルづまりがないことを確認してください。 				
ERROR 63c インク ザンリョウ ゼロ	カートリッジ残量 0(インクエンド /4 色 インクセット時のみ)	・新しいインクに交換してください。				
ERROR 64C NCU Iラー	何らかの問題により、ノズルチェックが 中断された。	 一度、主電源をオフにして、しばらくたって から再度オンにしてください。 再度表示する場合は、販売店または弊社営業 				
ERROR 650 NCU セツゾク イジョウ	NCU のユニットが接続されていない。	所、コールセンターにお問い合わせください。				
ERROR 651 NCU コウカン	NCUのセンサー感度が低く、正常にノズ ル抜けを判定できない。 ノズルチェック機能が使用できない。	・NCUの交換が必要です。販売店または弊社 営業所、コールセンターにお問い合わせくだ さい。				
ERROR 652 NCU ケンシュツエラー(HW)	ノズル抜け、飛行曲りが多発していて、 NCU がインクの吐出を正常に認識でき					
ERROR 653 NCU ケンシュツエラー(マーク)	ない。	・ノズル状態を確認し、ノズル抜け、飛行曲り が多い場合はクリーニングを実施し回復さ				
ERROR 654 NCU センターイチケンシュツエラー	NCUへの吐出位置の調整に失敗した。	い多い場合はクリーニングを実施し回復させてください。				
ERROR 655 NCU トシュツイチケンシュツエラー						
ERROR 656 NCU SN チョウセイエラー	センサーの感度調整に失敗した。	 ノズル状態を確認し、ノズル抜け、飛行曲りが多い場合はクリーニングを実施し回復させてください。 ノズル状態を回復しても、再度表示する場合は、販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。 				

第5章 困ったときは

表示	原因	対処方法				
ERROR 657 NCU インクキュウシュウザイ コウカン	NCU のインク吸収剤が満杯になった。	 ・販売店または弊社営業所、コールセンターに お問い合わせください。 				
ERROR 658 NCU センサー カンド テイカ	NCU のセンサー感度が低下してきてい る。					
ERROR 65b NCU カンドチョウセイエラー H	ヤンサーの感度を調整できない。	 NCU の交換をお勧めします。 販売店または弊社営業所、コールセンターに お問い合わせください。 				
ERROR 65c NCU カンドチョウセイエラーL						
ERROR 702 サーミスタ セツゾク	サーミスタ接続異常が発生している。	 一度、主電源をオフにして、しばらくたって から再度オンにしてください。 				
ERROR 710 ヒーターオンド イジョウ	ヒーターの温度異常を検知した。 本エラー発生後、温度異常が解消されな い場合、強制的に装置電源をオフにしま す。	再度表示する場合は、販売店または弊社営業 所、コールセンターにお問い合わせくださ い。				
	オプション乾燥ヒーターの電源が入って いない。					
ERROR 71b	オプション乾燥ヒーターの温度異常を検 出した。	 本機とオプションヒーターが正しく接続さ 				
FAN ヒーター イジョウ	オプション乾燥ヒーターの接続が確認で きない。	れているか確認してください。				
	オプション乾燥ヒーターのカバーが開い ている。					
ERROR 901 ジッコウ デキマセン	何らかのエラーにより、機能が実行できません。	 ・ローカル画面に戻ってエラー状況を確認し、 対処してください。 				
ERROR 902 ミサクズ データ アリ	プリントデータが残っている。	・データクリアを実行してください。 (頌PP.2-19)				
ERROR 90d ヘッド センタク ナシ	搭載ヘッドに異常が発生した。	 一度、主電源をオフにして、しばらくたって から再度オンにしてください。 再度表示する場合は、販売店または弊社営業 所、コールセンターにお問い合わせください。 				
ERROR 90f プリント エリア フソク	プリントに必要なメディア幅またはメ ディア長さが足りません。	 ・メディア幅の広い、またはメディア長さが十 分なメディアに交換してください。 ・原点移動によりメディア幅が狭くなってい る場合、原点を右にずらして有効メディア幅 を広げてください。 				
ERROR 91a ヘッド高さ 調整	マシンに保存されているヘッド高さ設定 値と現在のヘッド高さに違いがある。	・ヘッド高さの設定を行ってください。 (頌PP.2-4)				
ERROR 04 PARAM ROM	MAIN 基板 FROM に異常が発生した。					
ERROR d01 HCB POWER [1234]	HCB 基板の電源に異常が発生した。	・ 一度、主電源をオフにして、しばらくたって から再度オンにしてください。				
ERROR d02 HCB COMMON [1234]		円皮衣小9 つ场ロは、 駅元 に みた は 并 れ 西 来 所、 コールセンターに お問い合わせくださ い。				
ERROR d03 HCB HARD [1234]	HCB 奉攸の共常を快出した。					

表示	原因	対処方法
ERROR d04 HCB CMD [1234]	HCB 基板の通信に異常が発生した。	
ERROR d05 HCB WFM [1234]	印字している波形の異常を検出した。	
ERROR d06 HCB VUP [1234]	HCB 基板のバージョンアップ失敗を検出した。	・一度、主電源をオフにして、しばらくたって
ERROR d07 HCB FAN [1234]	HCB 基板のファンに異常が発生した。	から再度オンにしてください。 再度表示する場合は、販売店または弊社営業 所、コールセンターにお問い合わせくださ
ERROR d08 HCB UKNWN [1234]	HCB 基板より未定義エラーを検出した。	ι) <u>。</u>
ERROR d09 HD MEMORY [1234]	ヘッド内蔵メモリーに異常を検出した。	
ERROR d0a HCB BUSY [1234]	HCB 基板 - スライダーP 基板間の通信に 異常が発生した。	

SYSTEM HALT

表示	刘処方法
SYSTEM HALT (*) 000 : メッセージ	 一度、主電源をオフにして、しばらくたってから再度オンにしてください。 再度表示する場合は、番号を確認のうえ、販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。("000" はエラー No.)
SYSTEM HALT (*) 406 : WIPER ORG	 ワイパー周辺の清掃をしてください。 一度、主電源をオフにして、しばらくたってから再度オンにしてください。 再度表示する場合は、番号を確認のうえ、販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。





この章では ...

本機の仕様一覧表や、 機能の一覧表を記載しています。

仕様	6-2
本体仕様	6-2
インク仕様	6-3
インク種によるセットの違いについて	6-4
インクカートリッジのセット順	6-4
お問い合わせシート	6-5

仕様

本体仕様

百	=	TS300P-1800					
	方式	オンデマンドピエゾヘッド					
プリントヘッド部	// 4	4 ヘッドインライン					
11198 プリトントモード (フキャンマフィード)		360×360dpi/ 540×360dpi/ 720×720dpi/ 720×1080dpi					
使用可能インク		9色(Y_M_BLK_IBLIm_Ik_EP_EY)					
		く コ (1, …, 2, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1) インクパックからのチューブ供給					
インク供給		インクパック交換方式:2パック/1 色によるトグル切換供給					
		(4 色 / 6 色時 : M, BI 7 色時 : M)					
	4 色	Y, M, BI, K:2L インクパック各色 2 本					
	6 伍	Y, K, LBI, Lm:2L インクパック各色 1 本 M, BI:2L インクパック各色 2 本					
インク容量		Y, K, FP, FY : 2L インクパック各色 1 本 M, Bl : 2L インクパック各色 2 本					
	7 色	Y, K, Bl, LBl, Lm, Lk:2L インクパック各色1本 M:2L インクパック2本					
	8色	Y, M, Bl, K, LBl, Lm, FP, FY:2L インクパック各色1本					
使用可能メディア	•	転写紙					
最大プリント範囲		1940mm					
	最大幅	1950mm					
	最小幅	210mm					
	厚さ	1.0mm 以下					
ロールメディア	ロール外径 ^{*1}	紙メディア:Ф250mm 以下 その他メディア:Ф210mm 以下					
サイズ	ロール重量 *1,*2	40kg 以下					
	紙管内径	2インチまたは3インチ					
	プリント面	ロール外側面					
	巻終わり処理	紙管にテープ止め、または弱粘着					
リーフメディア 最大幅		1950mm					
サイズ	最小幅	210mm					
	リーフメディア	左右 : 15.0 mm(デフォルト値) 前 :120 mm 後 : 150 mm					
79269-92	ロールメディア	左右 : 15.0 ㎜ (デフォルト値) 前 :120 ㎜ 後 : 150 ㎜					
95. 南州业主 中于	絶対精度	±0.3 mm または指定距離の ±0.3 % の大きい方					
此碰相反	再現性	±0.2 mm または指定距離の ±0.1 % の大きい方					
直角度		± 0.5 mm / 1000 mm					
メディアスキュー		5 mm 以下 / 10 m					
ヘッド高さ調整		$2\sim7$ mm まで、手動無制限調整					
メディア裁断		ヘッド部カッターによる Y 方向カット, 裁断精度(段差)0.5 mm 以下					
排紙		ロール巻取装置標準 (内巻き / 外巻き 切り替え可能)					
廃インクタンク		ボトル式 (2000 cc)					
インターフェイス	印刷データ 転送機能	USB 2.0、Ethernet 1000BASE-T					
	メール機能	Ethernet 10 BASE-T / 100 BASE-TX / 1000BASE-T					
コマンド		MRL- V					
待機時		58 dB 以下 (FAST-A, 前後左右 1m)					
騒音	動作連続音	65 dB 以下					
	動作不連続音	70 dB 以下					
適合規格		VCCI-classA, FCC ClassA, CE マーキング (EMC 指令、機械指令、RoHS 指令、低 電圧指令), CB レポート , RoHS 対応					
電源仕様		AC100 ~ 120/ 200 ~ 240V 12A/8A 50/60Hz					

項		TS300P-1800
消費電力		1440W (AC100 - 120V), 1920W (AC 200~240V 時)
	使用可能温度	20 °C~ 30 °C
	相対湿度	35 ~ 65% Rh (結露なきこと)
乳空理	精度保証温度	20 °C~ 25 °C
这 直垛児	温度勾配	±10 ℃ / h 以下
	粉塵	オフィス相当
	最高動作高度	2000 m
重量		213 kg
	幅	3197mm
外形寸法	奥行き	842mm
	高さ	1857 mm

*1. メディア巻き取り後の外形および重量 *2. ただしロールの左右を保持した時、ロールがたわまないこと。

インク仕様

項目		昇華転写インク				
形態		2L インクパック				
色		ブラックインクパック (K) ブルーインクパック (Bl) マゼンタインクパック (M) イエローインクパック (Y) ライトブルーインクパック (LBl) ライトマゼンタインクパック (LBl)	ライトブラックインクパック (Lk) 蛍光イエローインクパック (FY) 蛍光ピンクインクパック (FP)			
インク容量		2L				
有効期限 有効期間 ただし、		有効期限は、インクパックに記載されている通り。 ただし、開封後は有効期限内であっても3ヶ月以内。				
保存時保存過度		10~35℃(1日の平均気温) ・容器は密閉した状態で保管すること。 ・乾燥した換気の良い冷暗所に保管すること。				
	輸送時	0~40 ℃ ・0 ℃より低温になる場所、40 ℃より高温になる場所は避けること。				

(重要!・インクパックや2Lエコケースを分解したり、インクを詰め替えないでください。 ・インクは、寒い場所で長時間放置すると凍結する場合があります。

・水性インクをお使いの場合、インクが凍結すると変質して使用できなくなります。インクが凍結しない環境で保管して ください。

インク種によるセットの違いについて

ご使用になるインク種によって、設定値やインクカートリッジのセット順が異なります。

インクカートリッジのセット順

お使いになるインクセットによって、インクステーションにセットするインクカートリッジの順番が異なります。



・インクステーション下にあるカートリッジのラベルに合わせ、インクカートリッジをセットしてください。



4 色モデル	昇華転写インク	М	М	BI	BI	Y	Y	к	к
6 色モデル 昇華転写インク		М	М	BI	ВІ	Y	к	LBI	Lm
		М	М	BI	BI	Y	К	FP	FY
7 色モデル	昇華転写インク	М	М	BI	Lk	Y	К	LBI	Lm
8 色モデル	昇華転写インク	М	FP	BI	FY	Y	К	LBI	Lm

お問い合わせシート

プリンタの故障、異常動作については、このシートをお使いください。 下記の必要事項をご記入の上、弊社営業所まで FAX でお送りください。

御社名	
ご担当者名	
お電話番号	
プリンタ機種名	
お使いの OS	
マシン情報 ^{*1}	
エラーメッセージ	
お問い合わせ内容	

*1. 「第3章便利な使い方」の、「情報を表示させる」をご覧いただき、必要な情報をご記入ください。(分子P.3-29

索引 Ε L LAN ケーブル1-9 LED ポインタ 2-15 Μ MAPS4 機能 (AUTO) を設定する 3-10 MAPS4の設定3-10 MAPS4 機能 MAPS 機能が有効になる条件 3-10 Ρ PG 着弾調整の設定3-17 Т Temporary の使い方 3-4 U USB2.0 インターフェイスケーブル 1-9 USB 2.0 インターフェイスについての注意事項 1-9 あ 安全インターロック0-xii 安全にお使いいただくために0-ix ご注意とお願い0-xi 使用上の警告と注意0-ix 使用上のご注意0-x 設置上のご注意0-xii 61 イベントメール機能 3-20 イベントを設定する 3-21 インク交換レポート3-28 インクパック取り扱い上のご注意1-14 đ え エラーメッセージ5-8 エラー履歴3-28

お

オートクリーニングの設定オートクリーニングの設定オートパワーオフの設定オートメンテナンス機能 カートメンテナンス機能 クリーニング間隔とタイプ チューブ洗浄間隔 リフレッシュ間隔	3-11 3-16 4-15 4-15 4-15 4-15
クリーニンク間隔とタイノ	4-15
ナユーノ洗浄间隔	4-15
	4-15 4-2
お問い合わせシート	6-5
おねがい	0-viii
オプションヒーターの設定	3-7

ま

<i>"""</i>	
外装のお手入れ	4-2 3-12 2-12 3-19 1-4 1-8 1-8
キャリッジ 操作パネル	1-8 1-6
装置前面	1-4 1-5
表置月面, 岡面 ピンチローラーとフィードローラー メディアセンサー	1-3 1-8 1_8
- スティティンティー 重ね塗りの設定	3-8
ムッターカの父換 乾燥時間の設定	4-18
乾燥フィードの設定	3-18

き

キーブザーの設定	3-19
キャッピングステーションのメンテナンス	4-6
インク排出路の洗浄	4-9
長期間使用しない場合	4-10
ヘッドノズルの洗浄	4-7
ワイパーとキャップの清掃	4-6
吸着ファンの設定	3-9

け

ケーブルを接続する	
言語の設定	
原点設定位置の目安	
原点を変更する	
件名を設定する	

С

故障かな?と思う前に	5-2
インク IC チップ異常が発生したら	5-3
インク漏れが発生したら	5-4
画質不良が発生したときは	5-3
電源が入らない	5-2
ノズル詰まりを解消したいとき	5-3
プリントできない	5-2

メディアが汚れる	. 5-2
メディア詰まり	. 5-2
ご注意0-viii,	0-ix

さ

サーバーを影	定する		3-22
作業の流れ			2-2

し

- 時刻の設定	3-18
受信障害	0-viii
主電源スイッチ	2-3
仕様	6-2
インク仕様	6-3
本体仕様	6-2
使用環境温度	1-2
使用状況	3-28
使用時間	3-28
スパウトゴム	3-28
廃インクタンク情報	3-28
プリント長情報	3-28
プリント面積情報	3-28
ワイピング情報	3-28
情報メニュー	3-28
情報メニューー覧表	3-28
情報を表示させる	3-29
消耗品の交換	4-16
初期状態に戻す	3-24

せ

設置場所について	
設定メニュー	
設定メニューー覧表	

た

単位(温度/長さ)の設定3-18

つ

使い方に合わせた最適なプリント条件を登録する 3-4

7

C	
ー データクリア	2-19
定期ワイピングの設定	3-11
テストプリント	
テストプリントに関する注意事項	2-16
テストプリントの前に確認してください	2-16
ヘッドの配列とテストパターンの関係	2-16
テストプリントをする	2-16
テストメールを送信する	3-23
電源ケーブル	1-10
電源を入れる	2-3
電源を切る	2-3

電源を切るときのご注意	
テンションバーの重量調整	用カウンターウェイト
の取り付け	
テンションバーを使ってロ [、]	ールメディアをセット
する	
電波障害自主規制	0-viii

登録した内容をリセットする3-5 ドットの位置がずれたら3-6 トップブロワの設定3-16 トルクリミッター2-10

と

E

日常のお手入れ4-2

ね

ネットワーク経由でE	「刷を行う	
ネットワークの設定		

ወ

ノズルチェック	
印刷中ノズルチェックの設定	3-27
印刷中ノズルチェックの流れ	3-26
自動ノズルリカバリの設定	3-27
「ノズル抜け」判定時ならびにエラー発生間	寺の印刷
動作	3-26
判定条件の設定	3-27
ノズルチェックメニュー	3-25
ノズルチェックメニュー一覧表	3-25
ノズルリカバリ機能	4-13
設定値をリセットする	4-14
テストプリント時にノズルリカバリを有効	加にする
か設定する	4-14
リカバリできない条件を確認する	4-14

は

バージョン	3-28
廃インクタンク確認メッセージ	4-17
廃インクタンクを交換する	4-18
パターンプリント2-18,	3-6

ひ

ヒーターの温度設定を変更する	
ヒーターの設定	
標準マージン	

131

フィード速度の設定		. 3-9
フィード品質の設定		. 3-9
フィード補正の設定	2-17,	3-5
プラテンの清掃		. 4-2
フィード品質の設定 フィード補正の設定 プラテンの清掃	2-17,	3-9 3-5 4-2

プリフィードの設定	3-12
プリント間の余白の設定	3-19
プリント完了後の動作	2-19
プリント結果	2-16
プリント条件を登録する	3-4
プリント中にメディア送りを補正したいとき	. 3-5
プリントを開始する	2-18
プリントを中止する	2-19

$\overline{}$

ヘッドクリーニング	2-17
テストフリントの結果に合わせてヘッドクリングを行う	ノーニ 2-17
ヘッドクリーニングについて	2-17
ヘット周辺の演振 ヘッド高さを調整する	4-12 2-4

ほ

補正パター、	·/ 3	-5
	/	0
木樾の移動	1	_2
千八成しノリショル		-2

ま

マーク表示	0-ix
マージン(左/右)の設定	3-8
巻取装置について	2-10
巻取りユニットの設定	3-16
マシン設定メニュー	3-13
マシン設定メニュー一覧表	3-14
マニュアルメディア幅設定	2-9

ଷ

メッセージを表示するトラブル	
メディア厚さ入力	
メディア押えの清掃	
メディア検出の設定	3-17
メディア残量入力	
メディア残量表示の設定	3-16
メディア残量プリントについて	
メディアセンサーの清掃	
メディアについて	1-15
使用可能メディアサイズ	1-15
メディア取り扱い上の注意	1-15
メディアをカットする	2-19
メディアをセットする	
メニューモードについて	1-16
ノットレディモード	1-16
メニューモード	1-16
リモートモード	1-16
ローカルモード	1-16
メンテナンス液	4-2
メンテナンスニュー	4-4
メンテナンスメニュー一覧表	4-5

よ

り

リーフメディアをセットする	2-14
リスト	
リフレッシュ	

ろ

ロール置き台	
ロールメディアをセッ	トする2-5
ロジカルシークの設定	

わ

ワーニングメッセージ	5-5
インクエラー	5-7
操作を実行したときに表示されるエラー	5-5
ローカルで表示されるメッセージ	5-5
ワイパーを交換する	4-16

TS300P-1800 取扱説明書

2021年5月

発行者 株式会社ミマキエンジニアリング
 発行所 株式会社ミマキエンジニアリング
 〒 389-0512
 長野県東御市滋野乙 2182-3

